

関西大学北陽高等学校・北陽中学校 2024年度学校評価報告書



2025 年3月

目 次

1 本校の概要	1
(1) 沿革	
(2) 建学の精神、教育目標	
2 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策	2
重点目標①	2
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
重点目標②	3
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
重点目標③	4
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
重点目標④	6
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
3 アンケートの実施状況について	8
4 アンケート結果の分析について	8
・中高教員対象（組織・個人）学校評価	
・高校（保護者対象・生徒対象）学校評価	
・中学校（保護者・生徒対象）学校評価	
5 学校関係者評価委員会からの評価結果	13
(1) 自己評価の結果を受けて	
(2) アンケート結果について	
関西大学副学長 経済学部 教授 北原 聡	
6 校長の意見書	15
7 アンケート結果	17

1 本校の概要

(1) 沿革

- ① 1922 年 6 月 5 日に、関西法律学校という専門学校から旧制大学へと昇格をし、関西大学が誕生する。大学昇格の立役者となったのは、当時の財界の大御所といわれた山岡順太郎氏（後の総理事、学長）である。順太郎氏は「知識をいくら集積しても力にはならない、断片的な知識をつなぎ合って活性化させ、社会に応用できて初めて力になる」という「学の実化（学理と実際の調和）」を提唱した。この考え方は、関西大学の学是であり、教育理念として現在も生きている。
- ② それから 3 年後の 1925 年、関大北陽の母体となった北陽商業学校が設立される。設立者は山岡倭（やまと）氏であり、順太郎氏の長男である。初代校長の糸島實太郎氏は関西大学出身で北陽を設立するにあたって、順太郎・倭父子の献身的な援助を受けることになる。
- ③ 1944 年に国の戦時非常措置令により工業学校への転換を余儀なくされたため、糸島校長は福武工学校との統合によって北陽の存続を図り、時局の要請に応えようとした。福武平十郎氏（北陽の初代理事長）は糸島校長の「北陽の法灯だけは絶やさないでほしい」という願いを聞き入れ、北陽工業学校と改称。終戦後、工業は商業に復帰し、さらに学制改革により北陽高等学校と改称した。
- ④ 2008 年、学校法人関西大学と学校法人福武学園が合併。関西大学北陽高等学校と改称。2010 年には北陽中学校を開設。2025 年 4 月には関西大学北陽高等学校第 18 期生、関西大学北陽中学校第 16 期生の入学式が行われる。

(2) 建学の精神、教育目標

「知徳体の調和のとれた人間性の育成」を建学の精神とし、生徒の個性や能力を最大限に伸ばし、「自ら考え判断し、責任を持つ」ことを教育目標としている。この目標を実現するため、本校では「知育」「徳育」「体育」を次のような観点で捉えている。

① 知育

基礎学力の充実を図り、自ら考える習慣を培い、自己の生き方を模索する知性と科学的なものの考え方を養う。

② 徳育

生活規範と社会のルールを遵守する大切さを学び、あらゆる学校生活や行事を通して自己の品性を高め、他者とともに生きるために必要な高い徳性を養う。

③ 体育

健康な身体と健全な精神を養うことを通じて、正しい状況判断と積極的かつ適切な行動ができるよう、体力・気力・判断力を育てる。

2 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策

(1) 重点目標①：基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす。

達成状況の目安：(◎)大幅達成・(○)達成・(△)未達成・(×)大幅未達成

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
ア スローラーナーに対し、高等教育に必要な学力を身に付けさせるために学力の向上を図る。 【評価指標】 ・「学力向上」項目で保護者対象アンケート肯定率 75%、生徒対象アンケート肯定率 80%以上 ・「スローラーナーへの対応」項目で保護者対象アンケート肯定率 70%、生徒対象アンケート肯定率 75%以上	【取組状況(Do)】 スローラーナーに対しては、各教科が、小テストや単元テストで学力定着を図り、その後、個別指導を行った。中学校では、生徒の学力に応じた e ラーニングを取り入れるとともに、中学 3 年で英語、数学において、習熟度別授業を実施した。高校でも、高校 1 年の数学において、習熟度別授業を行い、スローラーナーだけではなく、学力上位者が、理系進学につながるような授業を展開した。 【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) <学力向上> ・(高校) 保護者対象：79% (○) 生徒対象：82% (○) ・(中学校) 保護者対象：80% (○) 生徒対象：87% (◎) <スローラーナー> ・(高校) 保護者対象：66% (△) 生徒対象：73% (△) ・(中学校) 保護者対象：67% (△) 生徒対象：85% (◎) 【今後の改善方策(Action)】 今まで取り組んできた学力向上の取り組みにより、模試の結果から、中学校のスローラーナーは減少傾向にあり、学力が向上している。高校では、一定数のスローラーナーがおり、生徒対象のアンケート結果でも、目標率を達成されておらず、小テストや単元テストを個別指導に生かしていきたい。
イ 基礎学力と多様な学びを身に付けた生徒を一人でも多く関西大学ならびに国公立大学へ送り出す。 【評価指標】 ・関西大学への内部推薦の合格率 90%以上 ・国公立大学に 10 名の合格	自己評価 【取組状況(Do)】 2022 年度から 3 年間、関西大学への内部推薦の合格率が 90% 以上と目標を達成した。今年度も大学説明会、学部説明会、学部連携セミナー、「関大の知にふれる」などのプログラムを実施し、大学進学へのモチベーションを高めた。 さらに、内部推薦合格のために必要な英検のスコアアップのため、英語 4 技能をバランスよく指導した。 また、高い進路目標を実現するために、高校 1 年から特進アドバンスコースを募集し、週 39 時間、長期休暇中の特別授業、学習合宿を実施した。

	【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) ・ 関西大学への内部進学率 95% (○) 希望者287名中 272名合格 ・ 大阪大学 3名 神戸大学 3名 大阪公立大学 4名 京都府立大学 1名 京都工芸繊維大学 1名 神戸市外国語大学 2名 名古屋工業大学 1名 高知県立大学(看護学部) 1名 16名合格 (◎)
	【今後の改善方策(Action)】 関西大学への内部推薦の合格率90%以上という目標達成だけでなく、学部選択で、「ミスマッチ」が起こらないように、関西大学のプログラムを通して、大学での学びを生徒に伝えていく。その中で、理工系3学部への進学を断念することがないように、数学の学力向上を図っていききたい。 また、特進アドバンスコース1期生の卒業を機に、3年間の取り組みを振り返り、改善していく。具体的には、卒業生講話や河合塾の進学セミナーなどを充実させ、学力向上につながる取り組みを行いたい。

(2) 重点目標②：多様な学びを身に付けた生徒の育成

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
ア 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、質の高い学びを実現する。 【評価指標】 ・ 授業評価「生徒参加・対話型の授業」の項目で高校生、中学生アンケート肯定率90%	【取組状況(Do)】 iPadを有効利用し、授業支援アプリ「ロイロノート」「Google Classroom」を用い、生徒参加型、対話型の授業を展開した。また、国語や数学、社会において、iPadを活用し、グループ学習を行い、問題解決に取り組む協働学習を取り入れ、主体的で対話的な授業を行った。
	【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) < 授業評価「生徒参加・対話型の授業」 > ・ 高校生アンケート：96% (◎) ・ 中学生アンケート：94% (○)

	【今後の改善方策(Action)】 2024年度の授業評価「生徒参加・対話型の授業」の項目で高校生、中学生アンケートとも、肯定率が昨年度を上回った。 今後は、各教科で、生徒同士が教え合い学び合う協働学習をさらに推し進め、学習意欲を向上させて、問題解決能力を養いたい。そして、一人ひとりの理解に応じて、個別に対応するような指導につなげていきたい。
イ 探究学習を推進し、生徒の思考力や判断力、表現力を育成する。 【評価指標】 ・「総合的な探求の時間」 生徒アンケート 「生徒が主導し、活動内容の決定は先生と協働で行った」 「先生の支援を受けて生徒が主導していた」 - 生徒主導の項目が90%以上	自己評価 【取組状況(Do)】 中学校の「総合的な学習の時間」、高校1年の「総合的な探究の時間」において探究学習を行った。高校1年の企業・団体との協働プロジェクトでは、24の企業・団体との取り組みを通して、社会の課題解決に取り組んだ。その中で、聴覚障がい者のための「SOSカード」が日本国際博覧会協会賞を受賞した。 また、高校3年グローバルクラスでは「探究SDGs」において、個人研究を行い、卒業論文を作成し、卒業プレゼンを実施した。 【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) 「生徒主導」の項目 88% (△) 【今後の改善方策(Action)】 2022年度より、社会課題に挑戦する協働プロジェクトでは、多くの社会実装を目指せる提案や成果物が生まれた。これらの成果をさらに形にするため、社会実装支援金を創設し、活動資金として寄付を募り、この取り組みをさらに進めていきたい。 高校3年グローバルクラスの卒業論文作成にあたっては、スケジュールを見直し、余裕のある取り組みにしたい。

(3) 重点目標③:「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
ア 英語教育による基礎・基本を徹底し、コミュニケーションツールとしての英語力向上を図る。	【取組状況(Do)】 英語科においては、検定教科書の習得と4技能の向上を目標に指導し、英検対策は、適宜、時期をみて行った。具体的に、ネイティブ講師とのTT授業の充実やオンライン英会話、また、

【評価指標】 ・ 中学 3 年の合格目標を英検準 2 級以上 40%、3 級以上 85% ・ 高校 3 年の合格目標を英検 * 文理コース 2 級以上 60% - 準 2 級以上 85% * 特進アドバンスコース - グローバルクラス 2 級以上 90%	スピーキングを強化するために、主体的に活動する場面を増やした。さらに、定期試験後のライティング指導や長期休暇中、ゴールデンウィーク中に過去問演習の課題を課した。 【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) ・ 中学 3 年 - 準 2 級以上 62% (◎) 3 級以上 92% (◎) ・ 高校 3 年 (文理コース) 2 級以上 58% (△) 準 2 級以上 82% (△) (特進アドバンスコース) 2 級以上 95% (○) (グローバルクラス) 2 級以上 90% (○) 【今後の改善方策(Action)】 昨年の達成状況は、目標値を大きく下回ったが、文理コースにおいて、今年度は、2 級以上、準 2 級以上とも取得率を伸ばした。また、中学校においても準 2 級以上が昨年の 41% から 62% と伸ばしており、今後も、検定教科書の習得と英語 4 技能の向上を目標に指導していきたい。 また、進学アスリートコースでは、準 2 級以上を 22% の生徒が取得しており、特進アドバンスや文理コースの指導を生かして取得率を上げていきたい。
イ 国際的な視野と問題意識を持ち、国際化が進む社会で活躍できるグローバル・リーダーを育成する。 【評価指標】 ・ 教員対象<組織面>アンケートの「国際化」項目で肯定率 75% 以上 ・ 生徒対象アンケートの「国際化」項目で肯定率 80% 以上	自己評価 【取組状況(Do)】 ◆ 希望者対象 - 中学 1 年：イングリッシュキャンプ - 中学 2 年・3 年：オーストラリア・ケアンズ研修 - 高校：Global Studies Program、オンライン留学 - オーストラリア・アデレード研修 ◆ グローバルクラス対象 - 高校 2 年：ベトナム・シンガポール研修 - 長期留学生の受け入れ、関西大学の留学生との交流 - 高校 3 年：オーストラリア・アデレード研修 - 中国語必修、IELTS 対策と受験 【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) ・ 教員対象<組織面>アンケート 「国際化」項目 肯定率 82% (◎) ・ 生徒対象アンケート 「国際化」項目 高校 肯定率 89% (◎) - 中学 肯定率 82% (○)

	【今後の改善方策(Action)】 生徒対象アンケートの「国際化」項目で、高い肯定率を示していることから、国際理解教育は浸透しつつある。また、多様な学びを身に付けた生徒を一人でも多く関西大学に送り出すため、2023年度に高2でグローバルクラスをスタートさせ、完成年度を迎えた。 今後は、中高全体で国際理解教育を進めながら、グローバルクラスでさらに高いレベルで教育を行っていききたい。そのためにも、英語で教育を受ける大学への留学に必要な IELTS 5.5 レベルの英語力を身に付けさせたい。
--	--

(4) 重点目標④：大学とともに取り組む「次世代の人材育成」

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
ア 大学との連携で、学問の一端にいち早く触れ、知的好奇心を高め、大学での「幅広い学び」を体験する 【評価指標】 ・「中高大連携事業の実践」項目で保護者対象アンケート肯定率85%以上、生徒対象アンケート肯定率90%以上	【取組状況(Do)】 ①中大連携プログラム - 中1 → 社会安全学部（防災教育）：社会科 - 中2 → 理工系3学部（研究室体験）：理科 - 中3 → 法科大学院（模擬裁判）：社会科 ②高大連携プログラム ・高2進学アスリート → 人間健康学部 アドベンチャー施設を利用した体験学習 ・11学部との連携セミナー（高校1年・2年） ・「関大の知にふれる」（高校2年） ・「キャンパスライフ直前講座」（高校3年生） 【達成状況(Check)】（◎or○or△or×） <中高大連携事業の実践> ・（高校）保護者対象アンケート：91%（◎） 生徒対象アンケート：90%（○） ・（中学校）保護者対象アンケート：86%（○） 生徒対象アンケート：92%（○） 【今後の改善方策(Action)】 「中高大連携授業の事業」の項目におけるアンケートの肯定率は、昨年同様、高い数値となっている。 今まで各学部との連携プログラムが中心であったが、グローバルクラスが完成年度を迎え、国際部との連携、さらにポスター発表や論文作成に必要なスキルの習得のため教育推進部との連携

	強化を図っていききたい。
イ 関西大学への進学をはじめ、一人ひとりの進路実現のためのキャリア教育を実践する。 【評価指標】 ・「進路指導」項目で高校保護者対象アンケート肯定率 75%以上 高校生徒対象アンケート肯定率 85%以上	自己評価 【取組状況 (Do)】 今年度は、2025 年度に開設予定の新学部（ビジネスデータサイエンス学部）の教育内容を適切な時期に生徒・保護者に周知していくことに重きを置いた。7 月に新学部の教育内容や特色について、大学から説明があり、その後の三者懇談などで周知し、希望を募り、16 名が進学することになった。 その他の学部進学希望者には、連携授業や連携セミナーなどを通して、志望理由の明確化を第一に、進路指導を行った。 特進アドバンスコースでは、模試分析を通して、河合塾と連携し志望校を決め、国公立大学にチャレンジした。 また、スポーツコース（進学アスリートコース）の特性と進路希望を考慮し、大学訪問や大学進学相談会を実施した。 【達成状況 (Check)】（◎or○or△or×） <進路指導> ・（高校）保護者対象アンケート：80%（○） 生徒対象アンケート：88%（○） 【今後の改善方策 (Action)】 「進路指導」の項目で、今年度は、高校保護者、生徒とも評価指標の目標を引き上げたが、両者とも目標を達成した。 今までのプログラムの充実はもちろん、より実践的なキャリア教育のため、関西大学や国公立大学に進学した卒業生や社会人として活躍している卒業生の講話など、身近な人の経験を聞き、生徒が、将来の進路や職業について向き合える時間を作っていきたい。

3 アンケートの実施状況

関西大学の併設校で構成される「学校法人関西大学自己点検・評価委員会 併設校部門委員会」において、次の①～⑤の観点で併設校が共通に学校評価を行うこととした。

- ① 「教員対象（組織）のアンケート」における質問項目設定は、併設校としての共通性と独自性の両者を尊重し、併用することとした。共通項目を 14 項目定めるとともに、併設校それぞれ独自の項目を設定した。
- ② 「保護者対象」及び「生徒対象」とともにアンケートを行うこととし、併設校間での共通項目をそれぞれ 13 項目定めるとともに、併設校それぞれ独自の項目を設定した。
- ③ 上記の 3 種類の対象者別アンケートの評価項目とその表現は、互いにリンクさせた。
- ④ 「学校関係者評価」を各併設校において実施するに当たり、学校関係者評価委員会を立ち上げ、ステークホルダーへ建設的な意見を求め、学校教育の充実と発展にご協力をいただいた。

⑤ 実施日程

I 教員対象学校評価

「個人」及び「組織」 2024 年 12 月 16 日（月）～12 月 23 日（月）

II 保護者対象学校評価

全学年 2025 年 1 月 8 日（水）

III 生徒対象

全学年 2025 年 1 月 8 日（水）

⑥ 本報告書作成にあたって

上記のアンケートが実施された後は速やかにデータの集約が行われ、統計資料としてまとめられた。それを基に、評価委員がそれぞれの立場で分析をし、評価委員から出された意見をまとめた。最終的には、そのまとめの資料を使って、再度分析と改善案についての検討を加え、本報告書を作成するに至った。

4 アンケート結果の分析

アンケートの評価については、「4：そう思う 3：どちらかといえばそう思う 2：どちらかといえばそう思わない 1：そう思わない」の中から選択するように設定をした。

◆中高教員対象 学校評価＜組織面、個人面＞

・組織面の自己評価項目の平均

2022 年度：2.99 2023 年度：2.99 2024 年度：2.96

・個人面の自己評価項目の平均

2022 年度：3.14 2023 年度：3.14 2024 年度：3.14

組織面の自己評価項目の平均が 0.03 ポイント下がったが、個人面においては、2023 年度と同じポイントであった。組織面で特徴的なのは、「本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる」「本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い」という学校全般のアンケート項目の肯定率が、両項目とも 97%、評価点もこの 4 年間で最も高くなっている。また、教員の資質向上のための校内外の教員研修については、ポイントが低い傾向が続いていたが、2.74 と改善が見られた。一方、学校運営の各項目は、2023 年度に比べてポイントが下がった。

(1) 学校運営について

①ミドルマネジメントによる組織運営 <組織面>

「主任（学年・分掌・教科）がミドルアップとミドルダウンに努め、組織運営が活性化している。」

2022 年度：2.80 2023 年度：2.92 2024 年度：2.77

②会議の有効性 <組織面>

「職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。」

2022 年度：2.84 2023 年度：2.93 2024 年度：2.81

ミドルマネジメントによる組織運営、会議の有効性については、2021 年度から 3 か年上昇していたが、2024 年度は 2021 年度と同レベルとなった。教員の中には「現場の意見も拾いつつ、管理職の考えや意向もうまく伝わっており、主任の立場もうまく機能しているように思う。」という意見が聞かれていたが、会議の有効性の評価ポイントも下がっていることから、新たな取り組みや改善点などに関して、活発な意見交換ができていないと思われる。2022 年度にコース改編、高校の学習指導要領の改訂が行われ、2024 年度に完成年度を迎えたことも一因と考える。

(2) 教育内容について

・学力向上における組織的な取組、スローラーナーへの対応

学力向上への組織的な取組の組織面の評価は、C・D 評価が 28.1%、評価ポイント 2.81、昨年度とほぼ同じ評価であった。スローラーナーへの対応については、C・D 評価が 55.2%、評価ポイント 2.43、昨年度から評価を下げた。個人面の評価でも、C・D 評価が 52.7%、評価ポイント 2.47 と同じような傾向である。中学校では、補習、放課後の個別指導、中学 3 年生の英語・数学で習熟度別授業、高校では、高校 1 年の数学で習熟度別授業を取り入れ、生徒一人ひとりの学力に応じた指導を行っている。生徒対象アンケートでは、評価ポイントは、高校 2.98 中学 3.31 A・B 評価も高いことから、教員自身は、やり切れていないと感じていると思われる。

(3) 生徒指導について

・指導方針の一貫性、家庭との連携状況

指導方針の一貫性では、組織面 3.02 個人面 3.07 と乖離はなく、一貫した指導が行われて

いると考えられる。家庭との連携状況では、組織面 2.88、個人面 3.05 と昨年に比べて少し下がったが、電話や保護者プリントだけでなく、メールによる家庭への連絡も定着し、家庭との連携体制は整いつつある。

(4) 生徒支援について

・進路指導体制、部活動支援状況、学校行事体制

上記3項目については、2024年度も、組織面、個人面の自己評価とも、3.0ポイントを上回り、高い評価が続いている。その中で、部活動支援状況の組織面 3.40、個人面 3.39、学校行事については、組織面 3.19、個人面 3.35 という評価ポイントが「この学校に入学してよかったか」「本校に入学させて良かったか」という生徒、保護者アンケートの評価に反映し、高い満足度につながっていると考えられる。

◆高校（保護者対象・生徒対象）学校評価

(1) 「学校評価重要8項目」の推移グラフより

(下線は2019年度、2022年度→2023年度→2024年度)

①学園生活の満足度（学園生活）

保護者：2021年度以降A評価が50%以上、2022年度以降はA、B評価で90%以上を占め、依然上昇傾向である。(3.23、3.42→3.45→3.48)

生徒：一昨年度は少し下降したが、その後上昇傾向に戻った。2021年度以降はA、B評価で80%以上を占めている。(2.95、3.13→3.19→3.27)

②私学の独自性（教育方針・教育目標）

保護者：増減はあるが、3.10前後で安定している。(2.99、3.13→3.10→3.11)

生徒：少し下降したが、A、B評価で70%以上を維持している。(2.73、2.84→2.97→2.91)

③知育（学力向上における組織的な取組）

保護者：A、B評価で80%前後を維持しながら、2022年度以降は3.00以上で推移している。(2.81、3.08→3.06→3.05)

生徒：2022年度に落ち込んだが、以降は上昇傾向で、A評価とともに高い年と同水準に戻った。(2.87、2.99→3.07→3.15)

④知育（スローラーナーへの対応）

保護者：2021年度までの上昇傾向から、下降傾向であるA評価の割合が低めで推移している。(2.63、2.85→2.83→2.78)

生徒：2022年度の下降から少しずつ上昇してはいるが、ピーク時の水準までは戻っていない。(2.81、2.94→2.96→2.98)

⑤徳育（社会規範の理解とモラルの醸成）

保護者：A、B評価で約90%を維持しながら、高い水準で推移している。(3.15、3.25→3.28→3.26)

生徒：下降気味から上昇し、A、B評価で90%を占めた。(3.08、3.23→3.24→3.34)

⑥進路指導（進路指導体制）

保護者：2021 年度以降は、3.00 以上で推移している。（2.88、3.08→3.07→3.08）

生徒：3.20 以上で推移していたが 3.30 を上回り、A、B 評価が占める割合も大きい。（3.03、3.21→3.24→3.31）

⑦クラブ活動（部活動支援）

保護者：大きな変化はなく、全体は 3.20 以上 A、B 評価では 85%前後で推移している。（3.17、3.21→3.26→3.26）

生徒：3.30 以上で推移していたが、全体は 3.40 以上、A、B 評価では 90%を上回った。（3.22、3.32→3.36→3.43）

⑧学校行事（学校行事支援体制）

保護者：2021 年度以降、特に昨年度・今年度は全体および A、B 評価ともに大きく上昇した。（3.15、3.12→3.22→3.27）

生徒：継続して上昇傾向であり、特に昨年度・今年度は大きく上昇した。（3.27、3.32→3.43→3.49）

（2）分析

「学校評価重要 8 項目」における昨年度からの推移について、保護者による評価では 4 項目で上昇して 3 項目で下降、1 項目が維持となっている。生徒による評価では、1 項目で下降したが 7 項目で上昇している。

保護者の評価で下降が気になる項目は知育についての 2 項目であるが、生徒の評価ではともに上昇している。ただし、どちらもコロナ禍では上昇傾向であった。その時期には、罹患生徒や濃厚接触生徒に対してオンライン授業を施すなどの手厚さが評価されていたと思われる。また、2022 年度入学生からコースの改編が行われ、定期試験ごとに実施していた内部生の成績不振者への補習がなくなったことも、補習授業や組織的な取り組みとしては評価が下がる要素となっている可能性がある。

生徒の評価で下降しているのが教育方針の理解度である。学校生活の満足度は保護者、生徒ともに高い評価で上昇傾向にあるので、本校の教育方針や目標についてより具体的に触れる機会を増やし、再認識させて学校生活を送らせる必要があると思われる。

学校行事についての評価は、保護者、生徒ともに同じ傾向で上昇しており、その様子が保護者にまで伝わっていると思われる。しかし、徳育、進路指導、クラブ活動についての評価は、生徒の上昇傾向に比べて保護者の評価が追随しきれていない様子がうかがえる。これらの取り組みについても、学校としての取り組み方をよりしっかりと伝えていく必要があると思われる。

「学校評価重要 8 項目」について下線で示したコロナ禍前(2019 年度)の評価と比べると、すべての項目において評価は上昇しており、上昇値の平均は保護者で+0.16、生徒で+0.24 である。コロナ禍中には評価が上下した項目があるが、全項目とも持ち直すべく取り組み、それ以上の成果を出せているのではないかとと思われる。ただし、これらを比較する際にもすべての項目において、保護者の上昇値は生徒の上昇値を下回っているため、学校での取り組み方やその成果などを保護者に知ってもらう機会をつくっていく必要があると思われる。

◆中学校（保護者対象・生徒対象）学校評価

（１）「学校評価重要８項目」の推移グラフより

①学校生活の満足度

保護者：2020 年度から 2021 年度にかけて上昇し、その後の 4 年間は、ほぼ横ばいで推移している。

生 徒：過去 5 年間で右肩上がりのポイントとなり、本年度はさらに上昇し、3.48 ポイントとなった。

②私学の独自性（教育方針・教育目標）

保護者：2021～2023 年度にかけて下降していたが、2024 年度は上昇し、3.24 ポイントとなった。

生 徒：2023 年度からは若干の下降となったが、2020～2022 年度と比べると高いポイントとなっている。

③知育（学力向上における組織的な取り組み）

保護者：2021 年度を境に下降傾向となっていたが、2024 年度は少し改善し、3.12 ポイントとなり、AB 評価は 77%から 80%に上昇した。

生 徒：ここ 4 年間は、ほぼ横ばいで推移している。

④知育（スローラーナーへの対応）

保護者：2021 年度を境に、3 年連続で下降し、2024 年度は 2.82 ポイントとなった。AB 評価は 3 年連続で 70%を切っている。

生 徒：過去 5 年間はほぼ横ばいで推移しているが、A 評価の割合が小さくなっている。

⑤徳育（社会規範の理解とモラルの醸成）

保護者：2021 年度を境に、3 年間連続で下降している。

生 徒：過去 4 年間で上昇傾向が見られていたが、2024 年度はポイントが低くなった。

⑥進路指導

保護者：2021 年度を境に下降してきたが、2024 年度は上昇し、2.92 ポイントとなった。

生 徒：2020～2022 年度にかけて上昇し、2022 年度からはほぼ横ばいで推移している。

⑦部活動支援

保護者：2021 年度を境に、2 年間連続で下降してきたが、2024 年度は 3.18 ポイントまで上昇した。

生 徒：2023 年度からは下降したが、2020～2022 年度と比べると高いポイントで、AB 評価が 90%を超えている。

⑧学校行事指導体制

保護者：2023 年度に続き、2024 年度もさらに上昇し、3.31 ポイントとなった。学校行事に対して学校と保護者の協力体制が高くなっている。

生 徒：2022 年度から 2023 年度にかけて大きく上昇し、2024 年度はほぼ横ばいで推移した。AB 評価が 90%を超え、高い水準となっている。

（２）分析

「学校評価重要８項目」の①学校生活の満足度、②私学の独自性(教育方針・教育目標)について

ては、高いポイントを維持しており、AB 評価は保護者で約 90%、生徒で約 80～90%の水準となっている。保護者、生徒とも本校への入学についての満足度は非常に高く、本校の教育方針への理解も高い。

③の知育(学力向上における組織的な取組)については、保護者 80%、生徒 87%、④の知育(スローラーナーへの対応)については、保護者 67%、生徒 85%と、保護者と生徒の間で大きな差が見られる。特に④では、生徒が 3.31 ポイントに対して、保護者は 2.82 ポイントで、生徒の満足度は高いのに対して、保護者の満足度は低い結果となっている。こうした傾向は、⑥の進路指導でも見られる。

⑦の部活動支援、⑧の学校行事指導体制については、AB 評価は保護者で約 80～90%、生徒で約 90%の水準となっている。特に、生徒は⑦で 3.43 ポイント、⑧で 3.51 ポイントとなっており、クラブ活動や学校行事での支援について、非常に高い満足度を持っていることがわかる。

5 学校関係者評価委員会からの評価結果

(1) 自己評価の結果を受けて

学校関係者評価委員会では、教員の自己評価と重要 8 項目、続いて 2024 年度の重点目標について、保護者、生徒対象アンケートの分析を行い、意見交換を行った。

教員対象アンケートでは、ミドルマネジメントによる組織運営、会議の有効性について、2021 年度から 3 か年上昇していたが、2024 年度は評価ポイントが下がった点については、委員からも、新たな取り組みが 2024 年度に完成年度を迎えたことが影響しているのではないかと意見があった。次に「スローラーナーへの対応」については、教員アンケートで、組織面、個人面とも、評価ポイント 2.43、2.47 と評価を下げたが、生徒対象アンケートでは、評価ポイントは、高校 2.98 中学 3.31 であり、A・B 評価も高いことについて、意見交換した。委員からは、教員はやり切れていないと感じているようだが、生徒のことを考えて、サポートしていきたいという裏返しで否定的に捉える必要はないという指摘があった。

高校・中学校の保護者対象、生徒対象のアンケート（重要 8 項目）においては、学園生活の項目「ご子女を本校に入学させて良かったか」「この学校に入学して良かったか」で、高校では、保護者アンケートの方が生徒アンケートより評価ポイントが高く、中学校では、保護者アンケートの方が生徒アンケートより低くなっている。これは、中学校から私立に通わせる保護者は、学校に求めることが多いことが理由ではないか、という意見があった。その他の項目では、教育方針を除いて、6 項目で保護者アンケートの方が生徒アンケートより低くなっている。

今後、学校での取り組み方やその成果などを保護者に知ってもらう機会を、今まで以上に作る必要がある。また、PTA の役員をされている委員からは、PTA 活動を活性化し、学力向上や進路指導、学校行事など様々な取り組みに関して、情報共有し、発信していきたいという意見があった。

続いて、P2～P6 の 2024 年度の重点目標である、①「基礎的・基本的な『確かな学力』を修得し、進路実現を果たす」、②「多様な学びを身に付けた生徒の育成」、③「『コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力』を養う教育」、④「大学とともに取り組む『次世代の人材育成』」について、意見交換を行った。

「スローラーナーへの対応」について、委員から「保護者アンケートで、肯定率の目標を達成していないが、保護者が学校の取り組みを把握しているか。」についてあらためて質問があった。また、コース別にスローラーナーを把握する必要があるのではないか、という指摘があった。「関西大学への内部推薦の合格率 90%以上」を最近 3 年達成しているが、2024 年度では 15 名不合格になっており、保護者が子供の進路に関わる必要があるという意見が出た。

中期行動計画に掲げ、重点目標となっている探究学習と国際理解教育について、意見交換を行った。高校 1 年の企業・団体との協働プロジェクトでは、多くの社会実装を目指せる提案や成果物が生まれており、評価していただいた。また、グローバルクラスでは、チーム研究、個人研究を行い、卒業論文を作成する探究学習を、高校 1 年から 3 年まで続けることで、大学の学部選択につながるという意見があった。

国際理解教育については、教員アンケート、生徒アンケートの結果から、浸透しており、グローバルクラスだけではなく、中学、高校とも英語力の向上を図り、異文化理解の経験を積んでグローバル人材を育成してもらいたいというコメントがあった。

(2) アンケート結果について

2024 年度の中高教員対象学校評価アンケート、高等学校保護者・生徒対象学校評価アンケート及び中学校保護者・生徒対象学校評価アンケートの結果について、重点目標に焦点をしばり、学校関係者評価委員会での議論も参考にしつつ、関西大学教育職員の立場から意見を述べる。

重点目標①「基礎的・基本的な『確かな学力』を修得し、進路実現を果たす」については、評価指標である「学力向上」に関する保護者アンケートの結果が、肯定率の基準 75%に対して高等学校 79%、中学校 80%と基準を上回っており評価できる。生徒対象のアンケートでも肯定率の基準 80%に対して高等学校 82%、中学校 87%となっており、とくに高等学校の数値が近年上昇傾向にあることは評価できよう。

評価指標である「スローラーナーへの対応」に関する保護者対象アンケートの結果は、肯定率の基準 70%に対して高等学校 66%、中学校 67%となっており、昨年度の数値よりやや低下している。生徒対象アンケートは、肯定率の基準 75%に対して高等学校 73%、中学校 85%で昨年度とほぼ同水準である。保護者と生徒で数値に開きがあることに関しては、教育内容の保護者との共有をさらに深める必要があると思われる。

また、関西大学への内部進学率は 95%で 90%以上という目標を上回り、国公立大学合格者も目標である 10 名を超える 16 名を数え、それぞれ成果を出しているといえよう。

重点目標②「多様な学びを身に付けた生徒の育成」については、評価指標である「生徒参加・対話型の授業」に関するアンケート結果が、肯定率の基準 90%に対して高等学校 96%、中学校 94%といずれも基準を上回っており評価できる。また、評価指標「総合的な探究の時間」における「生徒主導」に関するアンケート結果は、肯定率の基準 90%に対して 88%であり、「刀」プロジェクトも含めて探究学習のさらなる充実が期待される。

重点目標③「『コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力』を養う教育」につ

いては、評価指標「英検の合格率」が高校3年生で特進アドバンスコース2級95%、グローバルクラス90%、文理コース58%、中学3年生で準2級62%、3級以上92%で、合格目標(それぞれ90%、90%、60%、40%、85%)を文理コースで2%下回るが、それ以外は、上回っており高く評価できよう。評価指標「国際化」に関する教員・生徒対象のアンケートでは、教員は肯定率の基準75%に対して82%、生徒は肯定率の基準80%に対して高等学校89%、中学校82%と評価に値する結果となっている。高等学校のグローバルクラスの教育も成果をあげつつあることから、国際化への多角的な対応をさらに進められたい。

重点目標④「大学とともに取り組む『次世代の人材育成』」については、評価指標「中高大連携授業の実践」に関する保護者・生徒対象アンケートの結果が、保護者の肯定率の基準85%に対して高等学校91%、中学校86%、生徒の肯定率の基準90%に対して高等学校90%、中学校92%といずれも基準を達成しており評価できる。また、評価指標「進路指導」に関する高等学校保護者・生徒へのアンケートでは、保護者の肯定率の基準75%に対して80%、生徒の肯定率の基準85%に対して88%という基準を上回る結果となっている。それぞれの生徒に即した適切な進路実現のために今後も丁寧な指導をお願いしたい。

(関西大学副学長／経済学部 教授 北原 聡)

6 校長の意見書

関西大学北陽高等学校・北陽中学校

校長 田中 敦夫

重点目標 ①基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす、②「多様な学び」を身に付けた生徒の育成、③「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育、④大学とともに取り組む「次世代の人材育成」については、既に述べている。ここでは、前年度の外部評価委員からの指摘のあった点を中心に記載することとする。

2022年に高校の学習指導要領が改訂され、それに伴いコース改編を行い、「自ら学び、自ら考える力を育てる探究学習の推進」と「国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成」を、本校のビジョン・政策目標として、重点的に取り組んでいる。2024年度は、2022年に入学した生徒が卒業する年にあたり、これらの取り組みの成果と課題を検証する必要がある。

一点目の「主体的・対話的で深い学び」「探究学習の推進」をキーワードとした授業改善は、委員から高い評価を得ており、授業評価「生徒参加・対話型の授業」項目で、2024年度も肯定率が昨年を上回り、高校生アンケートが96%、中学生アンケートが94%と目標を達成した。また、高校1年の企業・団体との協働プロジェクトでは、社会の課題解決に取り組んだ。このプロジェクトも3年目を迎え、多くの社会実装を目指せる提案や成果物が生まれた。さらに、グローバルクラスにおいては、「探究SDGs」という学校設定科目において、個人研究を行い、卒業論文を作成し、卒業プレゼンを実施した。探究学習の授業を核とした授業改善が＜内発的な動機づけ＞になり、高校生だけではなく、中学生に対しても学習意欲を高められるように指導していきたい。

二点目の「国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成」においては、高い英語力の習得を目指していたが、2023年度の高校3年の取得率は、2級以上36% 準2級以上65%と目標を大きく下回っていると指摘を受けた。外部評価を受けての学校の所見では、「高校は、2022

年に入学した生徒から新たな取り組みを行っており、2024年度の学校評価において、取得率が目標値に達成するか、結果を待ちたい」とコメントした。今年度の文理コースの2級取得率は、目標値に2%届かなかったが、特進アドバンスコース95%、グローバルクラス90%となり、4技能の向上という英語科の取り組みが一定の成果を上げた。

上記以外に、スローラーナーの対応については、多くの外部評価委員から指摘があった。補習や個別指導など教員の努力を前提にしながら、スローラーナーに対応することになり、2024年度の教員アンケート結果は、肯定率、ポイントとも下がった。組織面では、C・D評価が55.2%、評価ポイント2.43、個人面の評価でも、C・D評価が52.7%、評価ポイント2.47と同じような傾向がみられる。生徒対象アンケートでは、評価ポイントは、高校2.98、中学3.31で、A・B評価も高いことから、教員自身は、できる範囲内でやっているが、一方で、やり切れていないと感じていると思われる。

このような状況を改善するためには、教員の「働き方改革」と業務負担軽減を進め、生徒と向き合える時間を増やし、生徒・保護者の期待に応え、魅力的な学校をつくっていききたい。

7 アンケート結果

図表（2020 年度～2024 年度）

- 【グラフ①】 保護者（高校）対象 「学校評価重要 8 項目」の推移
- 【グラフ②】 高校生対象 「学校評価重要 8 項目」の推移
- 【グラフ③】 保護者（中学校）対象 「学校評価重要 8 項目」の推移
- 【グラフ④】 中学生対象 「学校評価重要 8 項目」の推移
- 【グラフ⑤】 「学校生活の満足度」の推移
- 【グラフ⑥】 「教育方針・教育目標」と「併設校としての使命」の推移
- 【グラフ⑦】 「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移
- 【グラフ⑧】 「保護者との連携」（学習と生徒指導）の推移
- 【グラフ⑨】 「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移
- 【グラフ⑩】 「進路指導体制」の推移
- 【グラフ⑪】 「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移

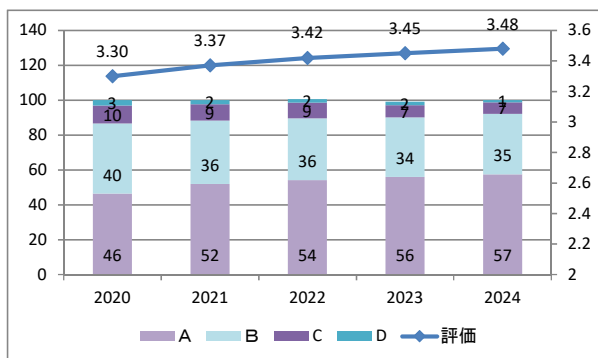
数表（2024 年度）

- 資料 1—1 学校評価 教員対象アンケート <組織>
- 資料 1—2 学校評価 教員対象アンケート <個人>
- 資料 1—3 学校評価 教員対象アンケート —「組織」の過去 4 ヶ年比較—
- 資料 1—4 学校評価 教員対象アンケート —「個人」の過去 4 ヶ年比較—
- 資料 2 ① 学校評価 保護者アンケート結果 —高中別—
- 資料 2—1 学校評価 保護者対象アンケート結果（高校） —過去 4 ヶ年比較—
- 資料 2—2 学校評価 保護者対象アンケート結果（中学校） —過去 4 ヶ年比較—
- 資料 2 ② 学校評価 生徒対象アンケート結果 —高中別—
- 資料 2—3 学校評価 生徒対象アンケート結果（高校） —過去 3 ヶ年比較—
- 資料 2—4 学校評価 生徒対象アンケート結果（中学校） —過去 3 ヶ年比較—
- 資料 3—1 授業評価分析資料（教科別）
- 資料 3—2 授業評価分析資料（高校・中学校別）
- 資料 3—3 「総合的な探究の時間」生徒対象アンケート結果

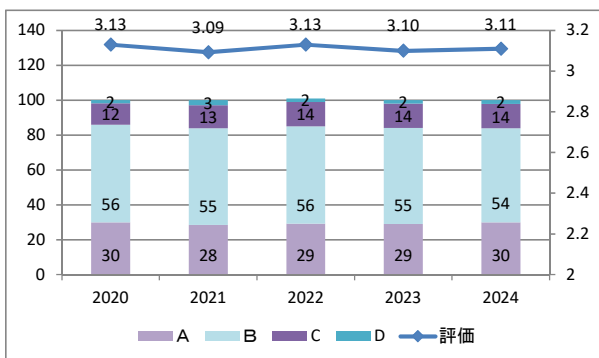
保護者(高校)対象「学校評価重要8項目」の推移 (2020年～2024年)

【グラフ ①】

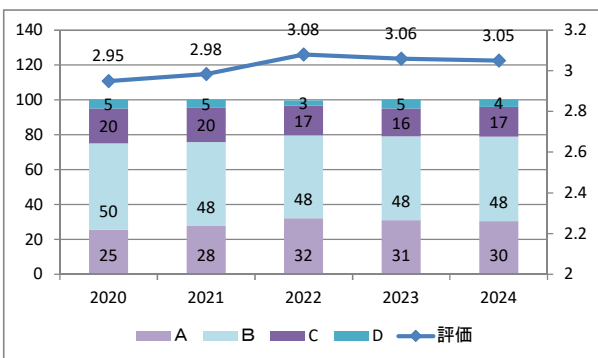
1 ご子女を本校に入学させて良かったと思えますか



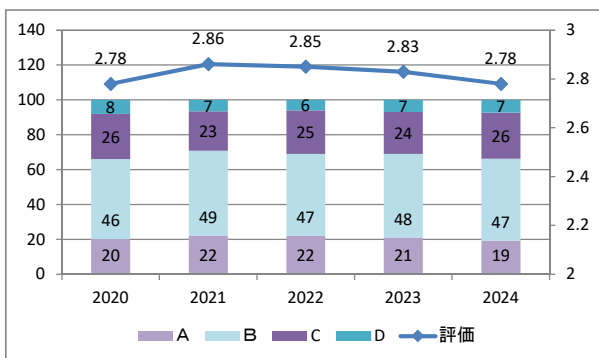
2 本校の教育方針を理解されていますか



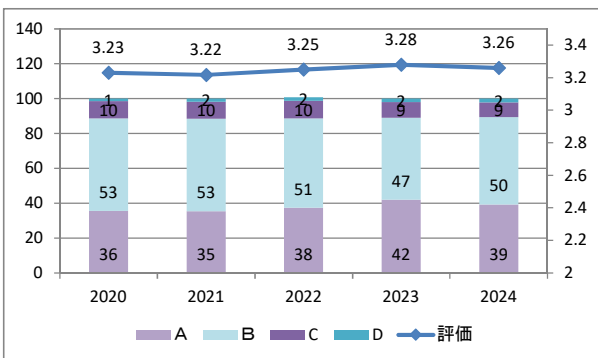
3 学力向上のために組織的な取組を行っていると思えますか



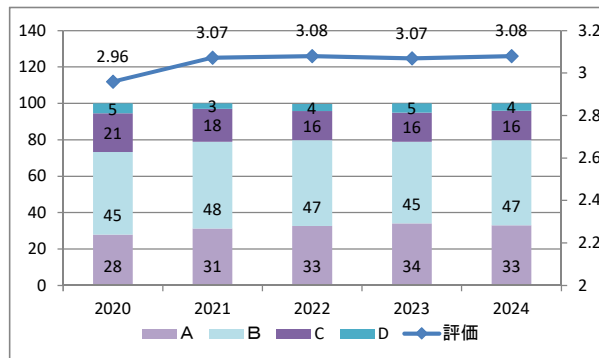
4 補習授業の取組が十分に行われていると思えますか



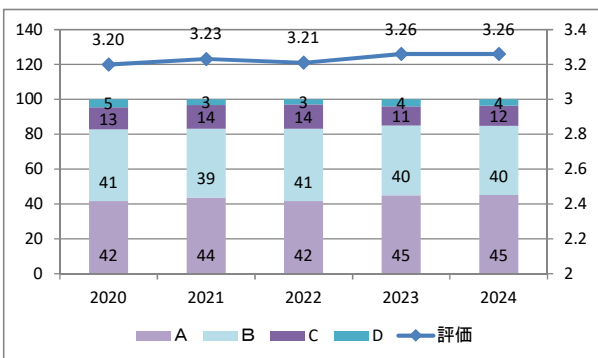
5 マナーやモラルを向上させる取組がされていると思えますか



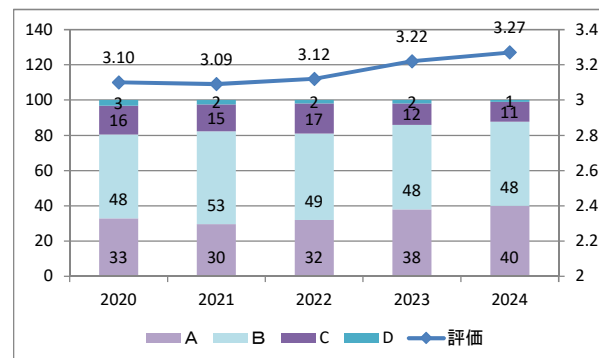
6 きめ細かな進路指導が行われていると思えますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思えますか



8 学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思えますか



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

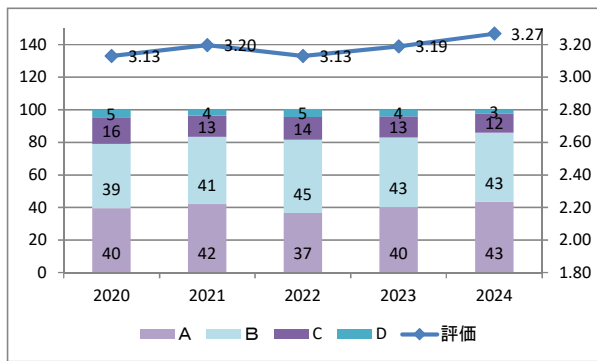
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

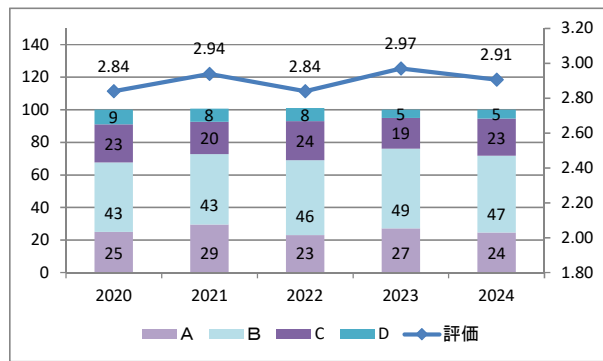
高校生対象「学校評価重要8項目」の推移（2020年～2024年）

【グラフ ②】

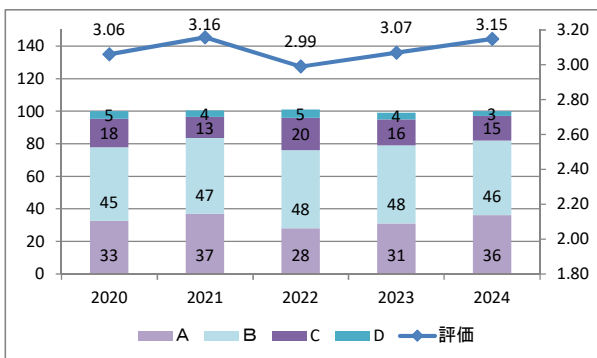
1 この学校に入学して良かったですか



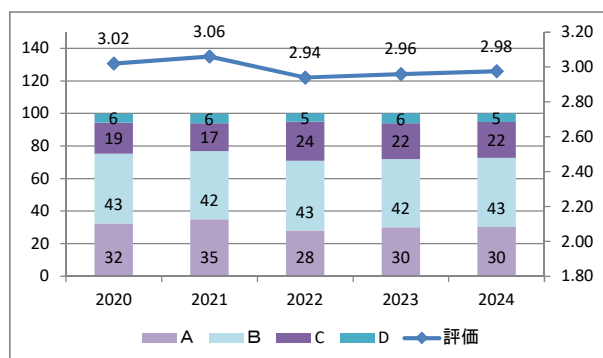
2 学校の教育方針を理解していますか



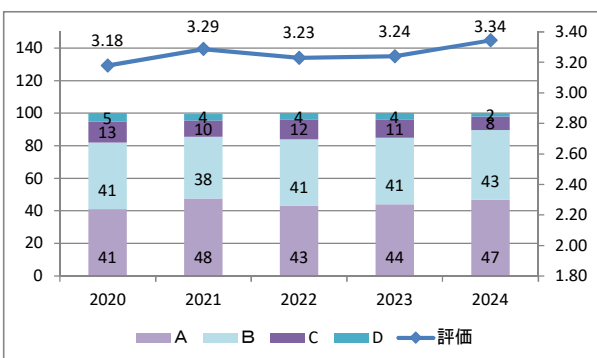
3 自分の学力は向上していると思いますか



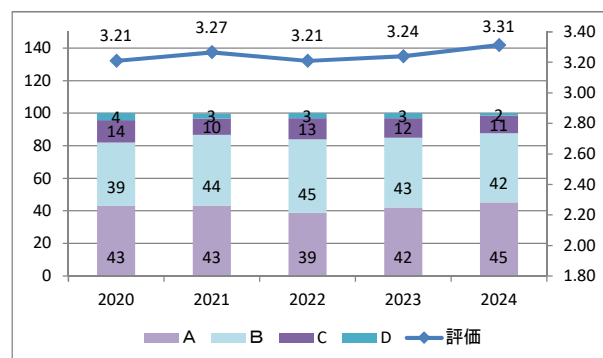
4 補習授業等、適切なフォローがありますか



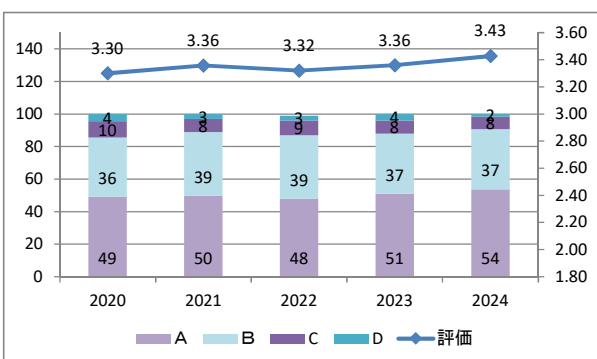
5 ルールやマナーについて指導を受けていますか



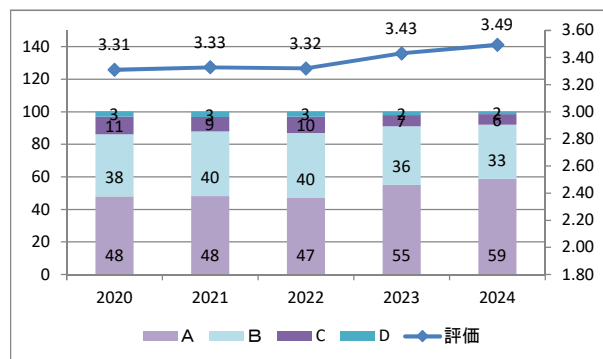
6 きめ細かな進路指導が行われていると感じますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思いますか



8 学校行事に対して学校は支援していると思いますか



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

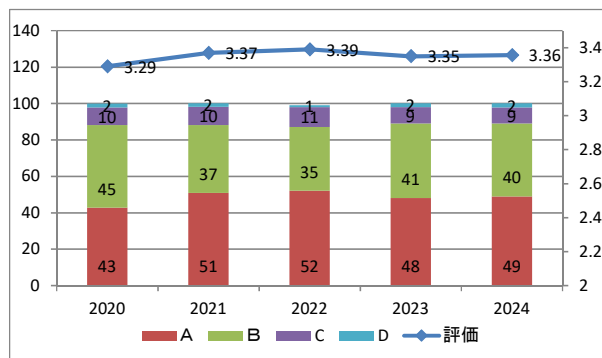
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

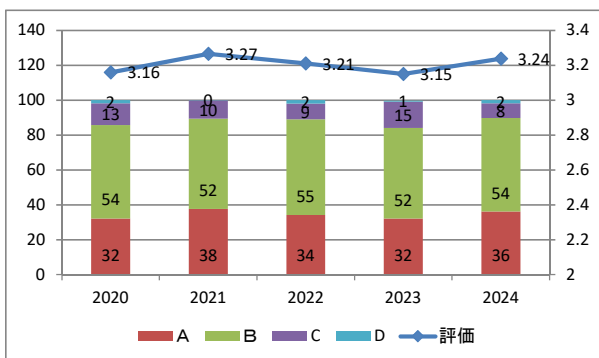
保護者(中学)対象「学校評価重要8項目」の推移 (2020年～2024年)

【グラフ ③】

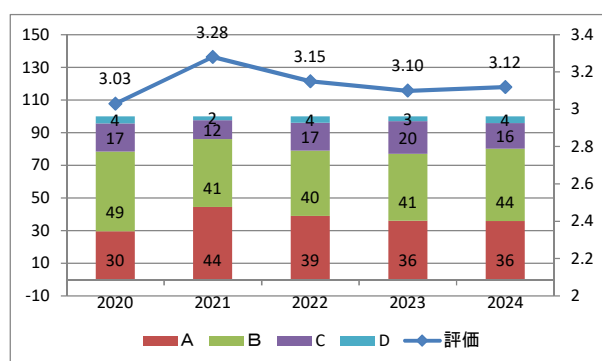
1 ご子女を本校に入学させて良かったと思えますか



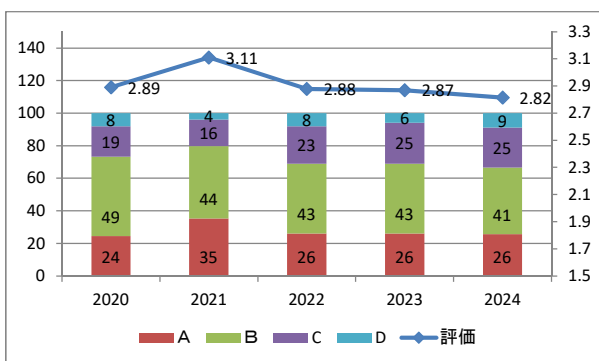
2 本校の教育方針を理解されていますか



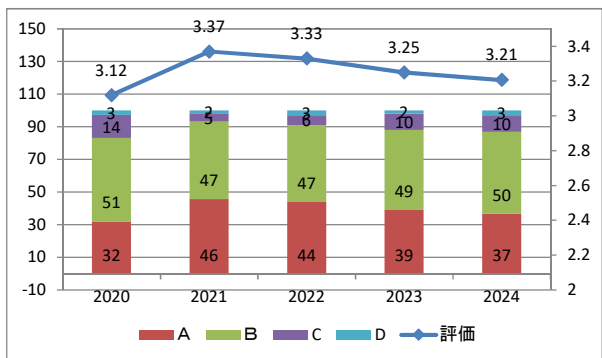
3 学力向上のために組織的な取組を行っていると思えますか



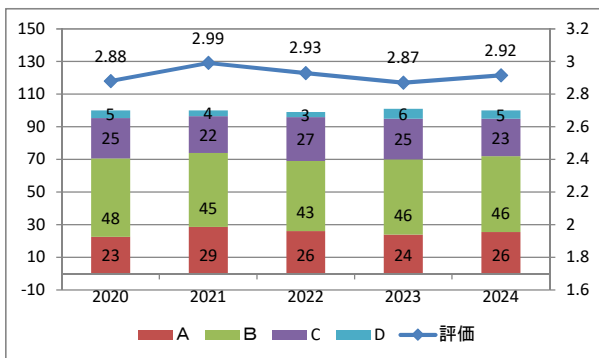
4 補習授業の取組が十分に行われていると思えますか



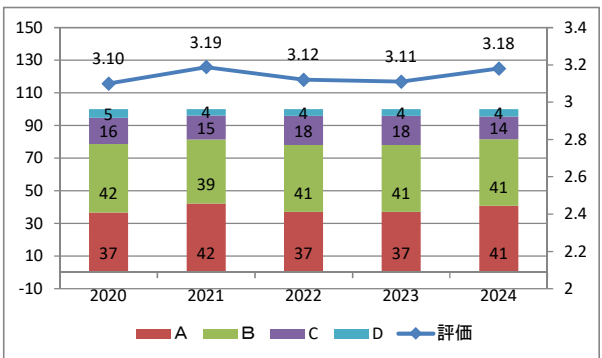
5 マナーやモラルを向上させる取組がされていると思えますか



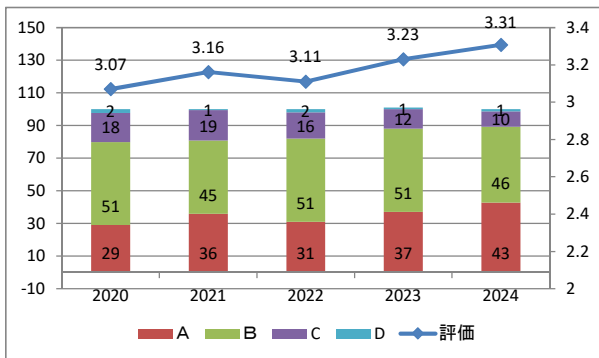
6 きめ細かな進路指導が行われていると思えますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思えますか



8 学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思えますか



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

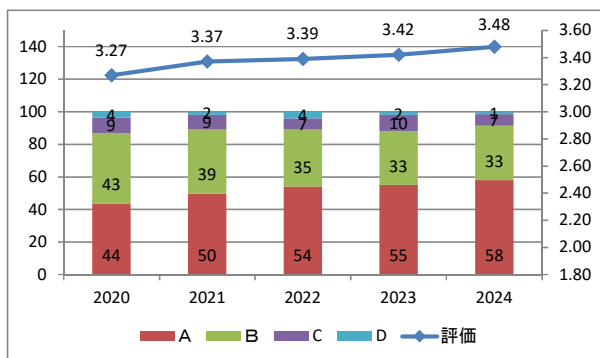
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

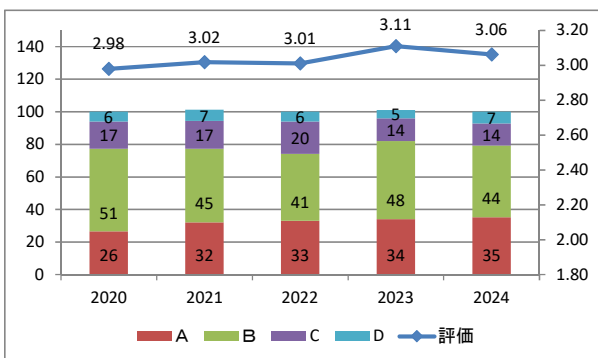
中学生対象「学校評価重要8項目」の推移（2020年～2024年）

【グラフ ④】

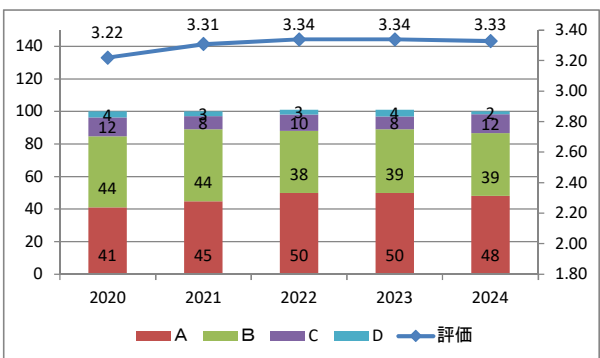
1 この学校に入学して良かったですか



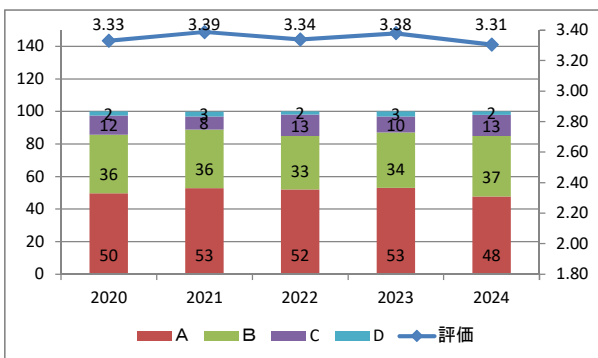
2 学校の教育方針を理解していますか



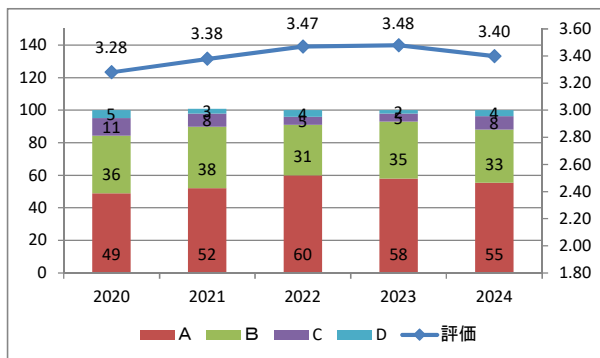
3 自分の学力は向上していると思いますか



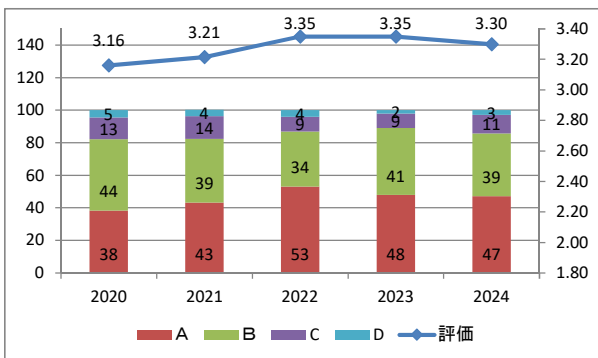
4 補習授業等、適切なフォローがありますか



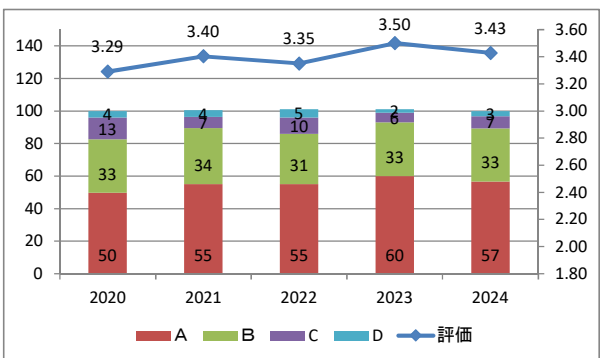
5 ルールやマナーについて指導を受けていますか



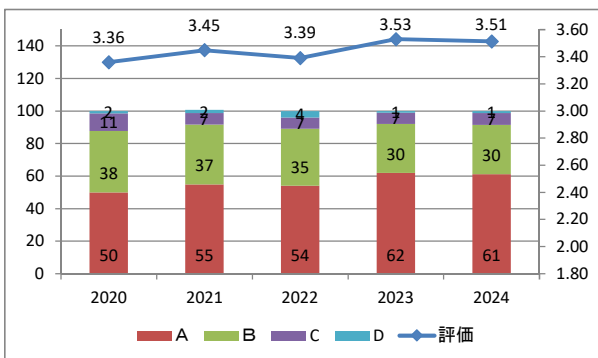
6 きめ細かな進路指導が行われていると感じますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思いますか



8 学校行事に対して学校は支援していると思いますか



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

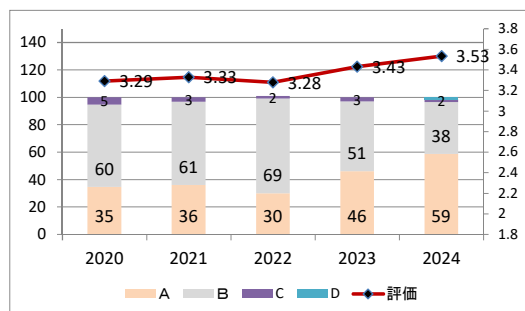
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

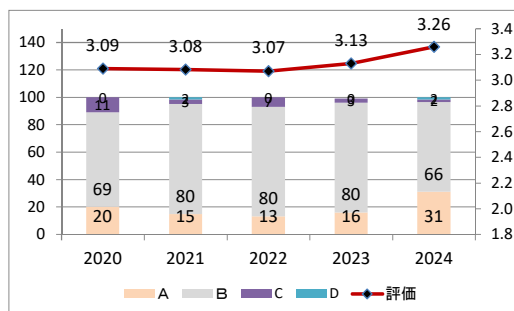
「学校生活の満足度」の推移（2020年～2024年）

【グラフ ⑤】

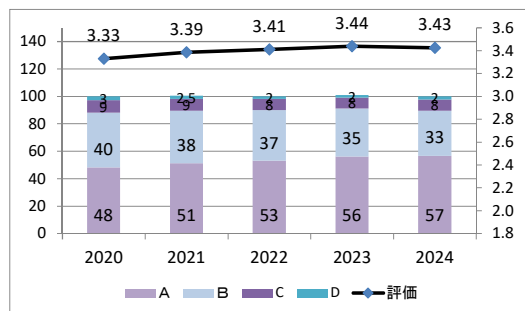
1 本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる(教員組織)



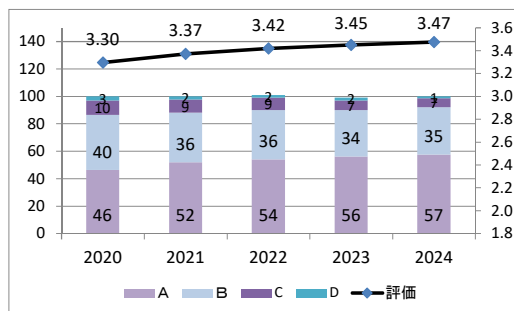
2 本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い(教員組織)



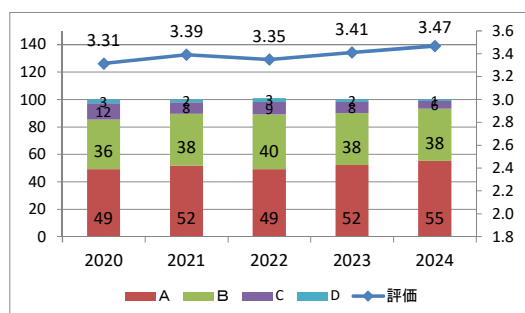
3 生き生きとした学校生活を送っているか(高校保護者対象)



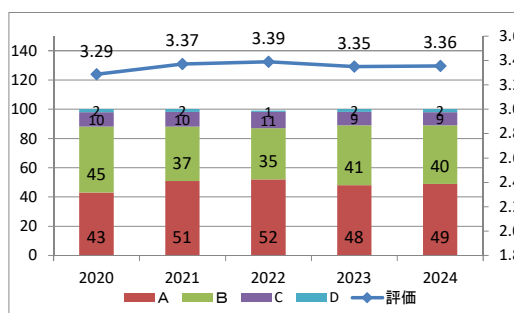
4 本校に入学させて良かったと思われるか(高校保護者対象)



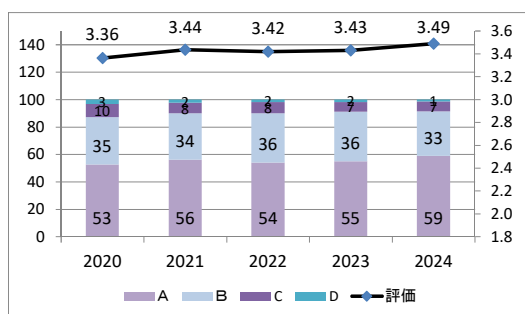
5 生き生きとした学校生活を送っているか(中学校保護者対象)



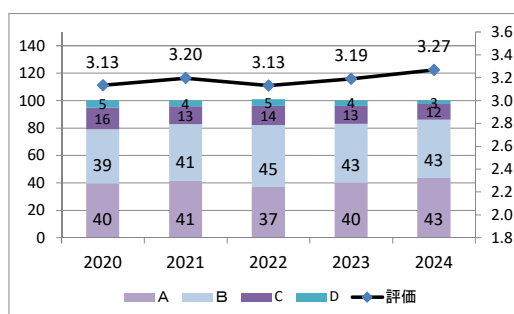
6 本校に入学させてよかったと思われるか(中学校保護者対象)



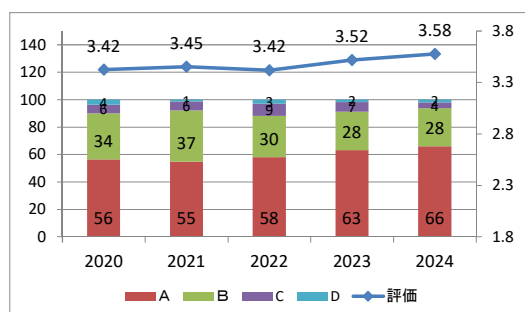
7 学校生活は楽しいと感じているか(高校生対象)



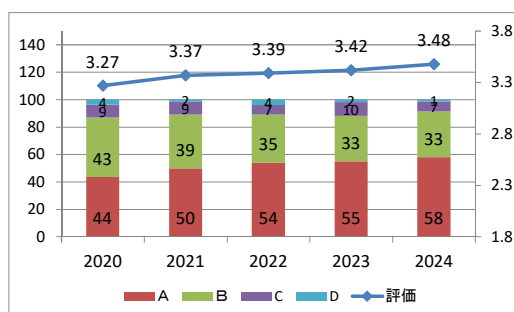
8 本校に入学してよかったと感じているか(高校生対象)



9 学校生活は楽しいと感じているか(中学生対象)



10 本校に入学してよかったと感じているか(中学生対象)



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

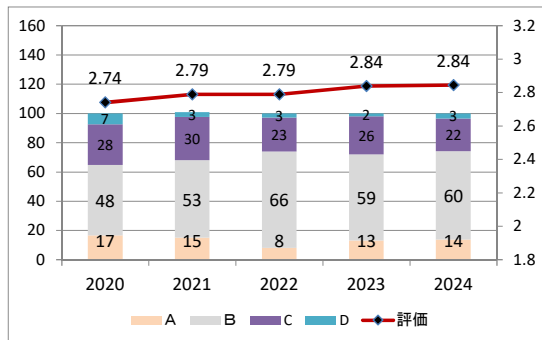
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

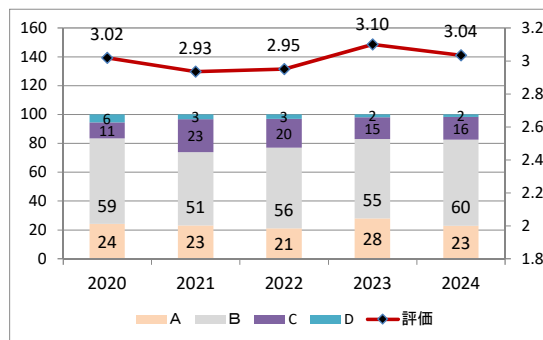
「教育方針・教育目標」「併設校としての使命」の推移（2020年～2024年）

【グラフ⑥】

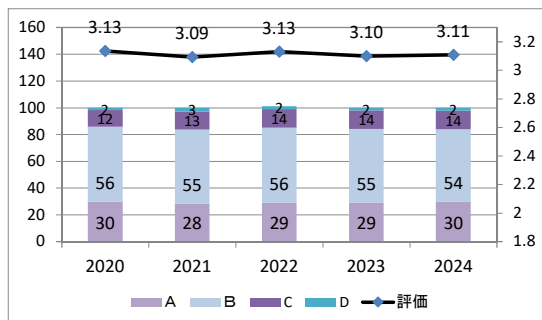
1. 教育方針・教育目標は関係者に浸透していると思うか。（教員組織）



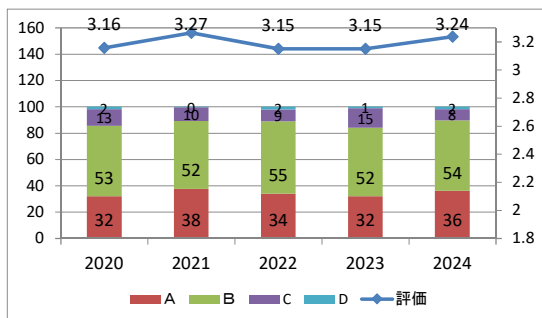
2. 関大と合併した意義と併設校としての使命が浸透しているか。（教員組織）



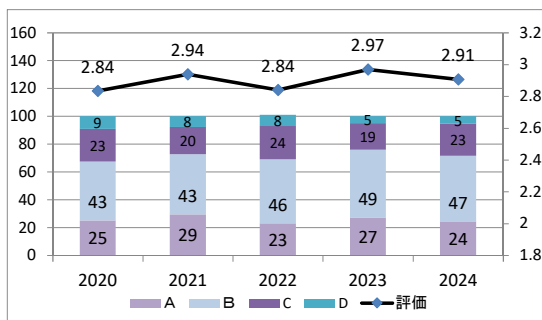
3. 本校の教育方針を理解していますか。（高校保護者対象）



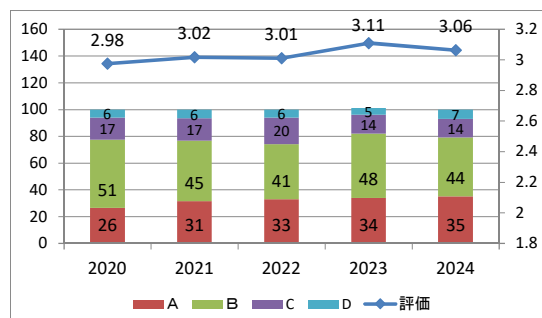
4. 本校の教育方針を理解していますか。（中学校保護者対象）



5. 本校の教育方針を理解していますか。（高校生対象）



6. 本校の教育方針を理解していますか。（中学生対象）



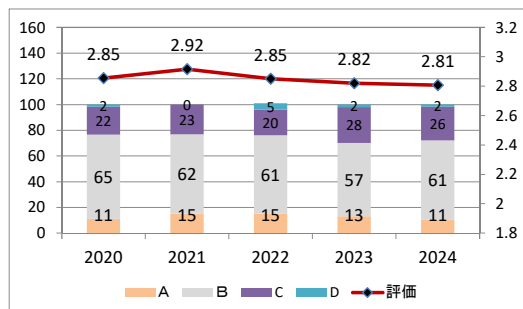
縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

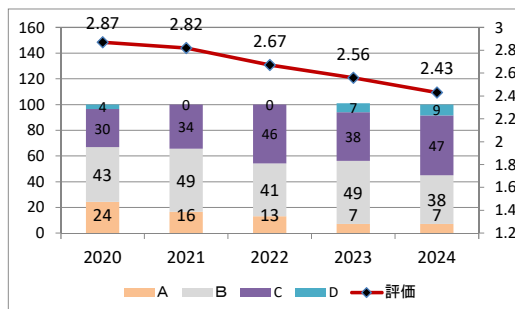
$$[4 \times (A \text{ の回答数}) + 3 \times (B \text{ の回答数}) + 2 \times (C \text{ の回答数}) + 1 \times (D \text{ の回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移（2020年～2024年 【グラフ ⑦】

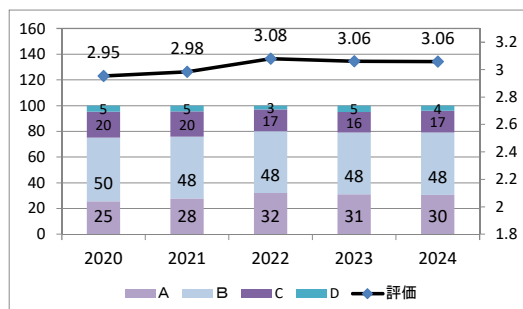
1 学力向上における組織的な取組(教員組織)



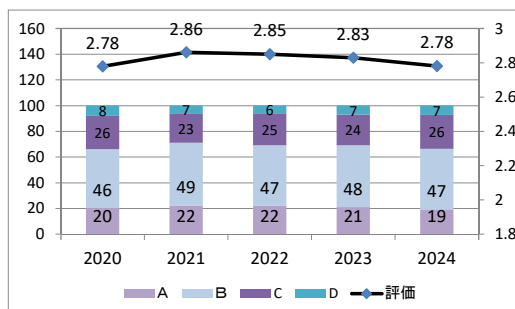
2 スローラーナーへの対応(教員組織)



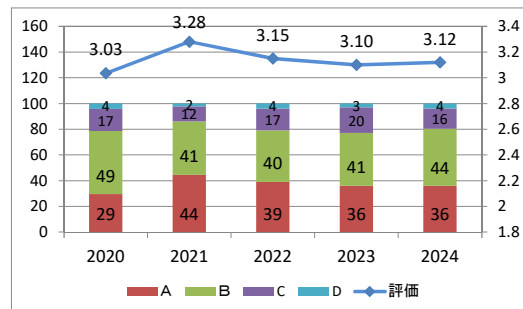
3 学力向上における組織的な取組(高校保護者対象)



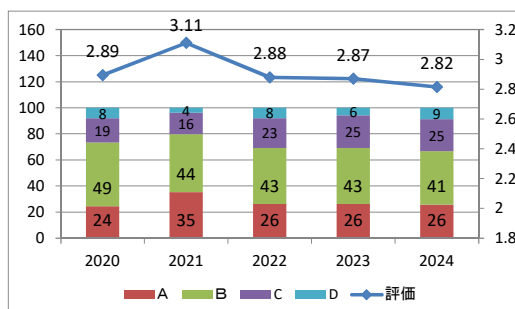
4 スローラーナーへの対応(高校保護者対象)



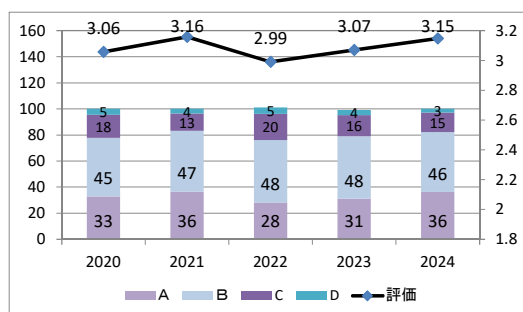
5 学力向上における組織的な取組(中学校保護者対象)



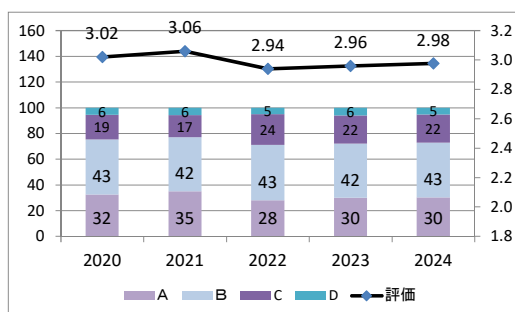
6 スローラーナーへの対応(中学校保護者対象)



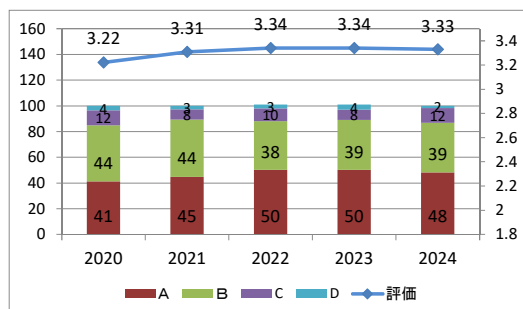
7 自分の学力は向上していると感じているか(高校生対象)



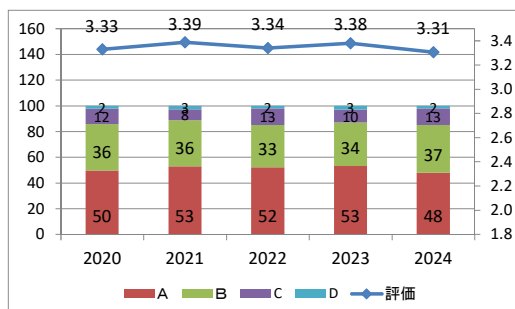
8 適切なフォローをしてもらっていると感じているか(高校生対象)



9 自分の学力は向上していると感じているか(中学生対象)



10 適切なフォローをしてもらっていると感じているか(中学生対象)



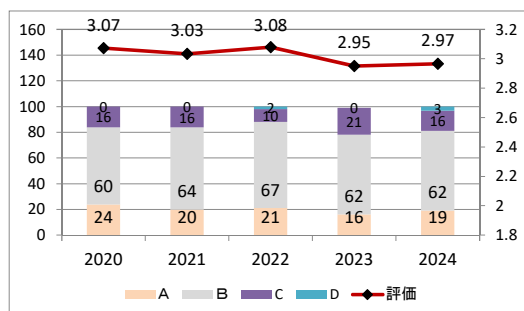
縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

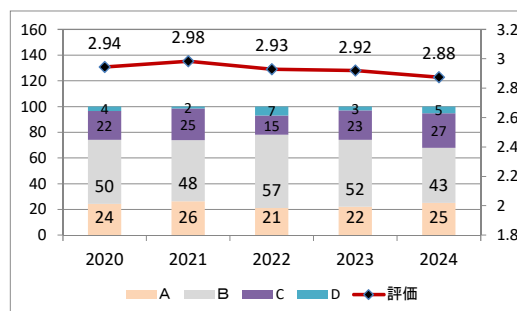
$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

「保護者との連携」(学習と生徒指導に関して)の推移 (2020年～2024年) 【グラフ ⑧】

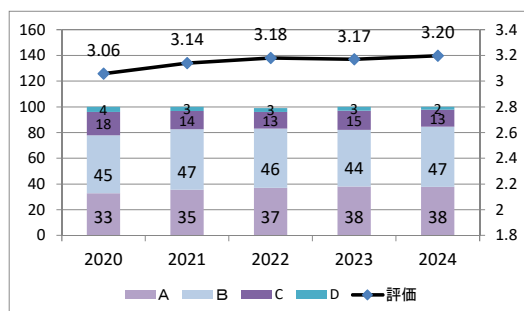
1 学習に関する保護者との連携(教員組織)



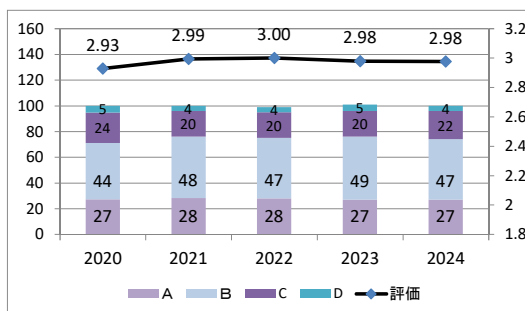
2 生徒指導における保護者との連携(教員組織)



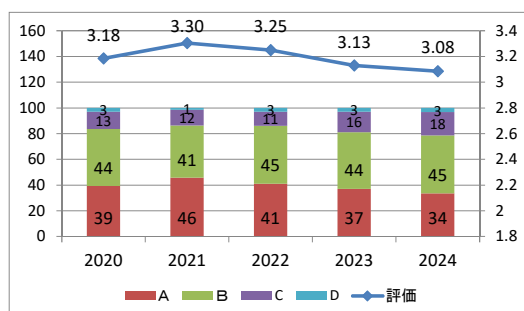
3 学習に関する保護者との連携(高校保護者対象)



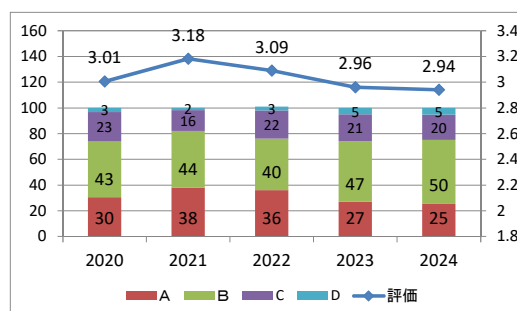
4 生徒指導における保護者との連携(高校保護者対象)



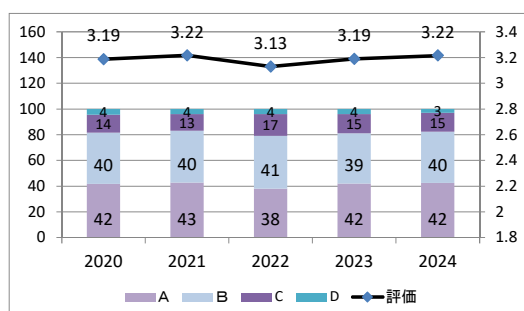
5 学習に関する保護者との連携(中学生保護者対象)



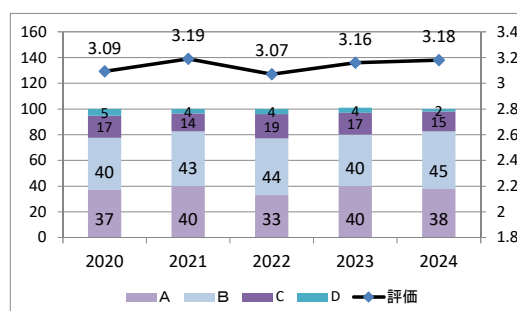
6 生徒指導における保護者との連携(中学校保護者対象)



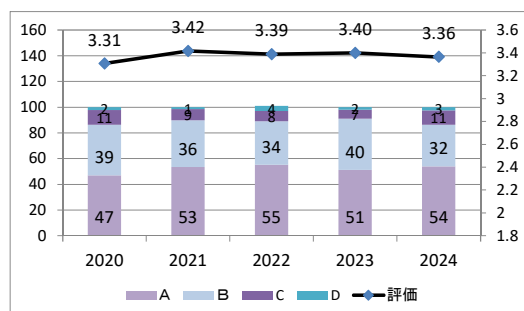
7 学習に関する保護者との連携(高校生対象)



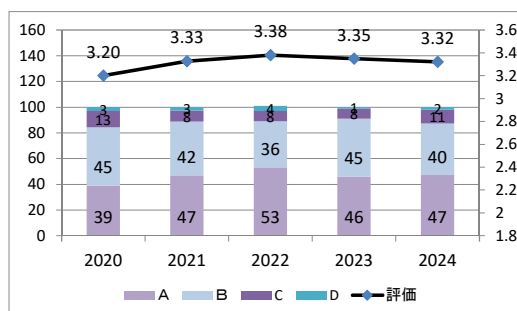
8 生徒指導における保護者との連携(高校生対象)



9 学習に関する保護者との連携(中学生対象)



10 生徒指導における保護者との連携(中学生対象)

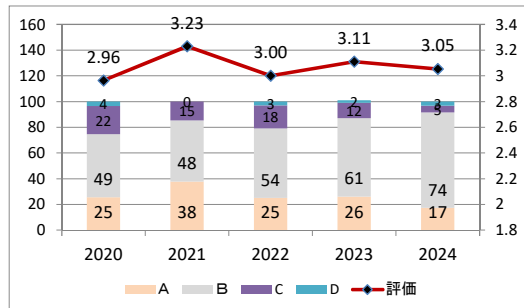


縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。
 評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

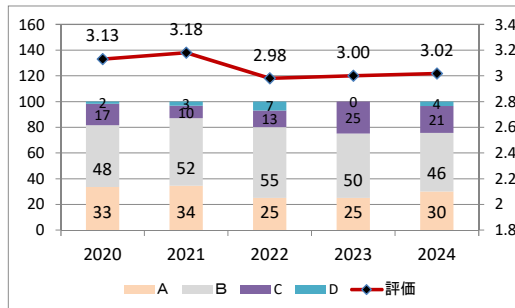
$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移（2020年～2024年） 【グラフ ⑨】

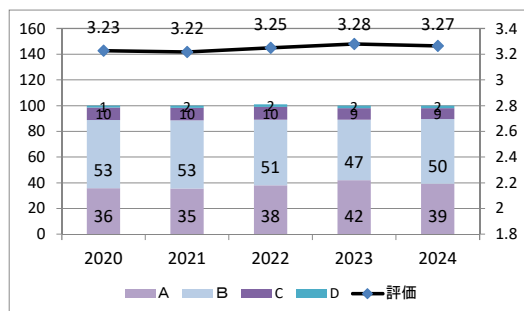
1 社会規範の理解とモラルの醸成(教員組織)



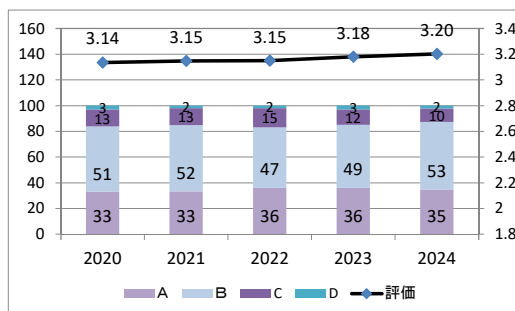
2 生徒指導方針の一貫性(教員組織)



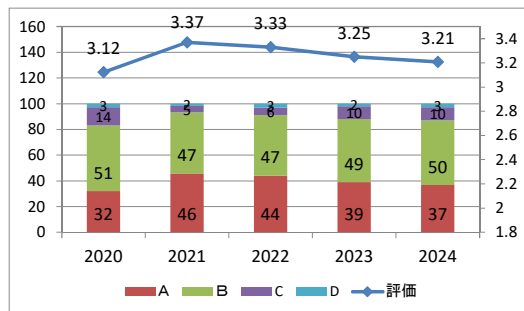
3 社会規範の理解とモラルの醸成(高校保護者対象)



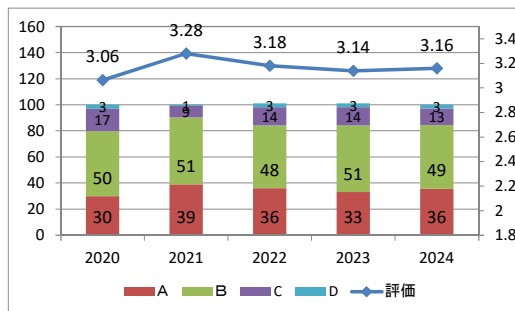
4 生徒指導方針の一貫性(高校保護者対象)



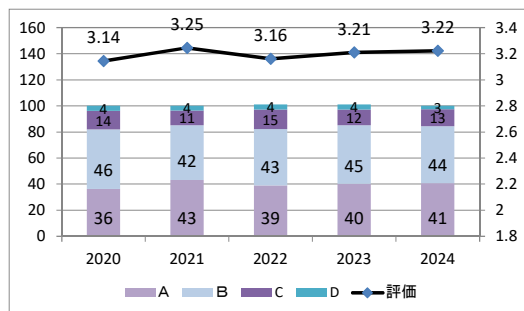
5 社会規範の理解とモラルの醸成(中学校保護者対象)



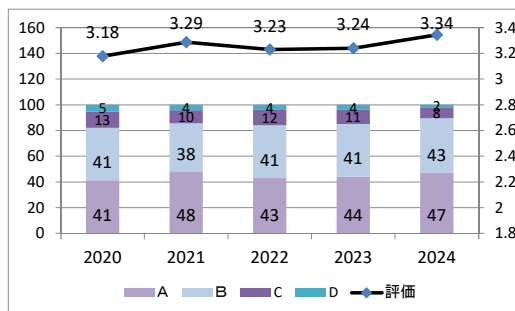
6 生徒指導方針の一貫性(中学校保護者対象)



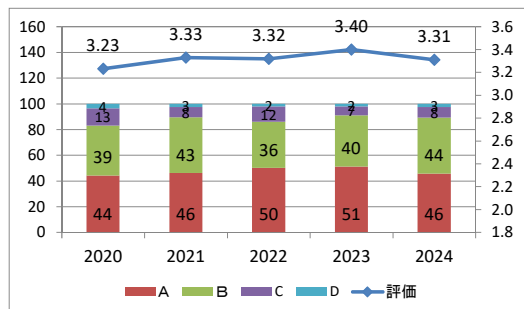
7 社会規範の理解とモラルの醸成(高校生対象)



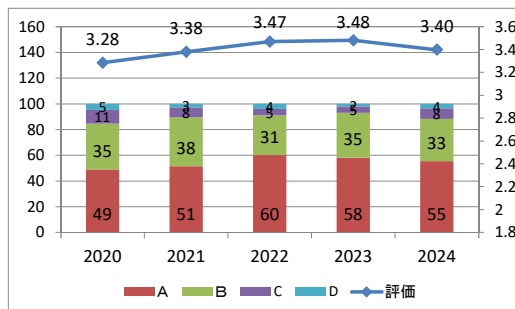
8 生徒指導方針の一貫性(高校生対象)



9 社会規範の理解とモラルの醸成(中学生対象)



10 生徒指導方針の一貫性(中学生対象)



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

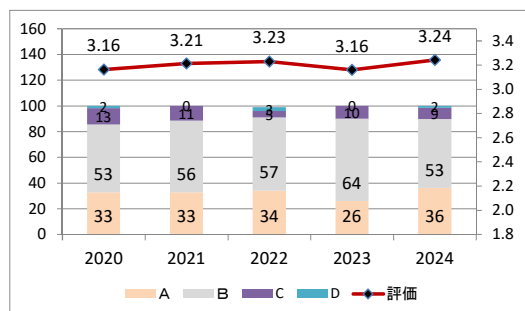
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

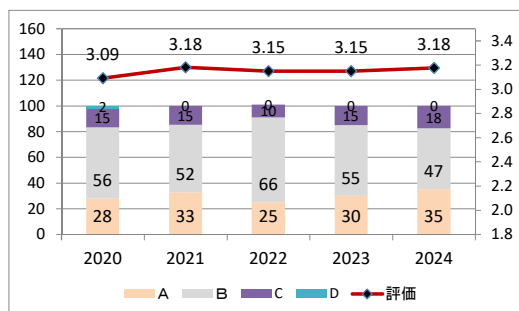
「進路指導体制」の推移（2020年～2024年）

【グラフ ⑩】

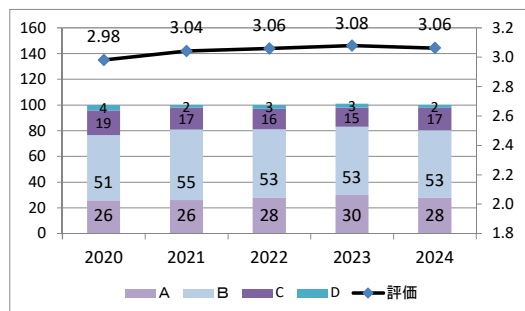
1 生徒・保護者へのカウンセリングの体制を整えている（教員組織）



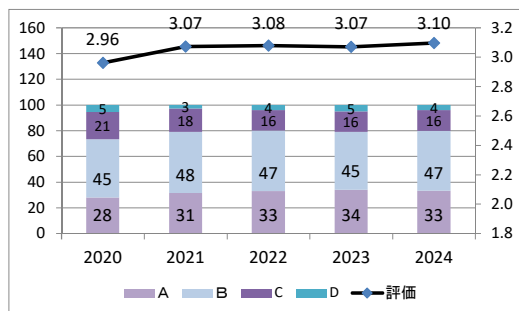
2 進路を実現させる指導を組織的に行える体制である（教員組織）



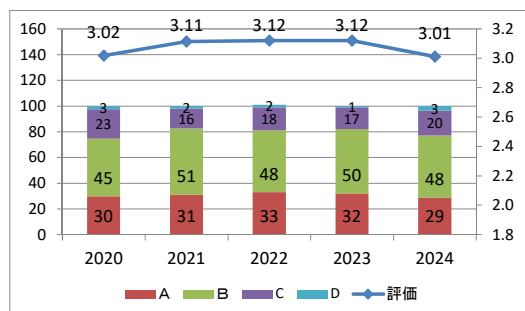
3 カウンセリングを受けられることを知っていますか（高校保護者対象）



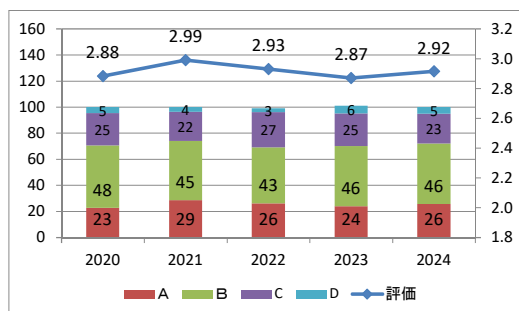
4 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（高校保護者対象）



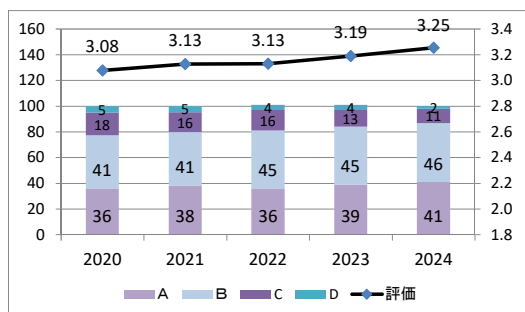
5 カウンセリングを受けられることを知っていますか（中学校保護者対象）



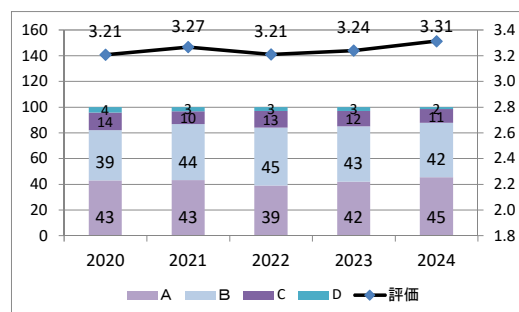
6 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（中学校保護者対象）



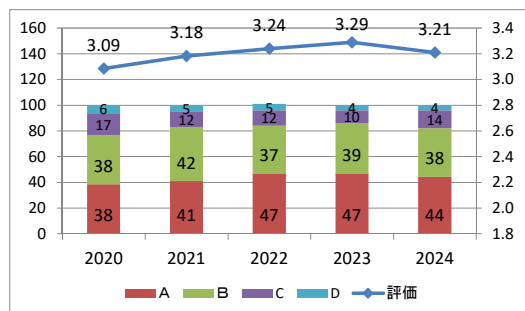
7 カウンセリングを受けられることを知っていますか（高校生対象）



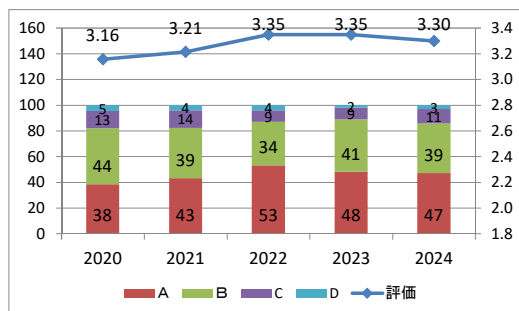
8 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（高校生対象）



9 カウンセリングを受けられることを知っていますか（中学生対象）



10 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（中学生対象）



縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

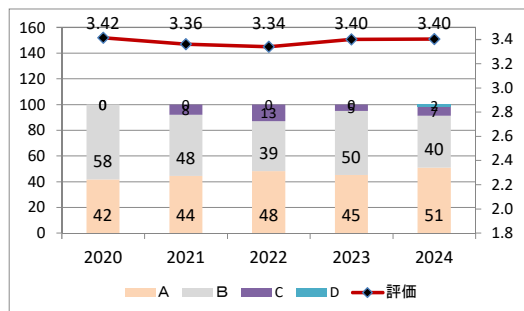
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$\{4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})\} \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

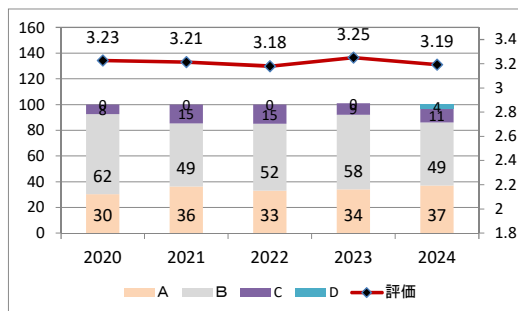
「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移（2020年～2024年）

【グラフ ⑪】

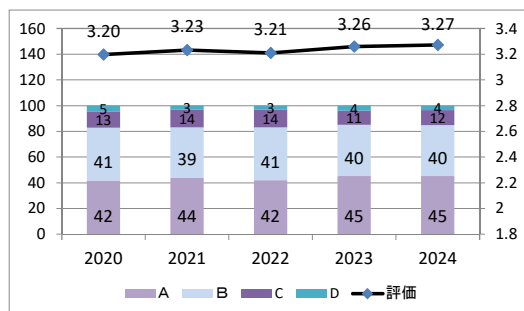
1 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援しているか(教員組織)



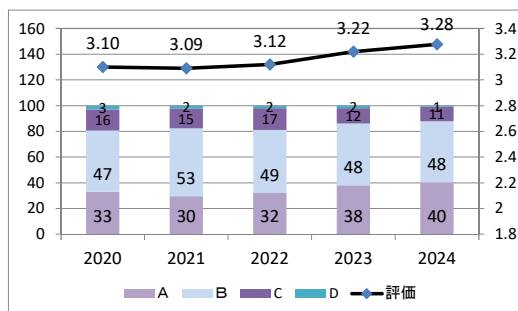
2 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援しているか(教員組織)



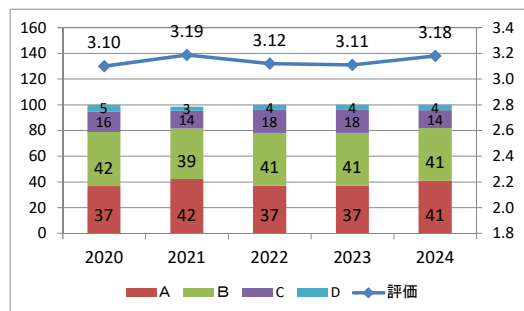
3 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援している(高校保護者対象)



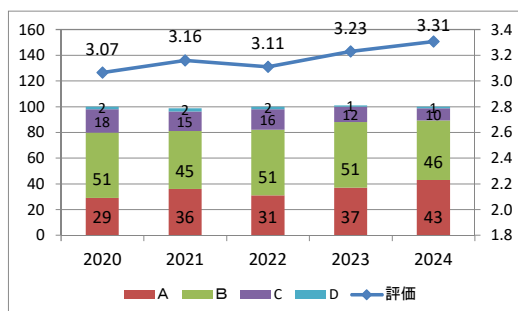
4 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか(高校保護者対象)



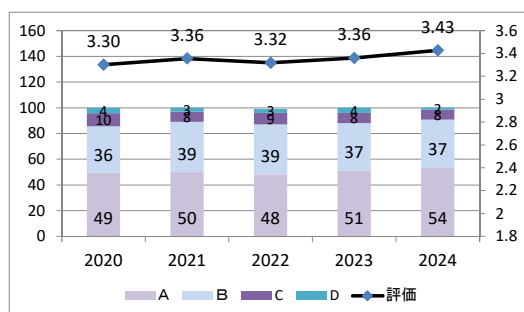
5 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援しているか(中学校保護者対象)



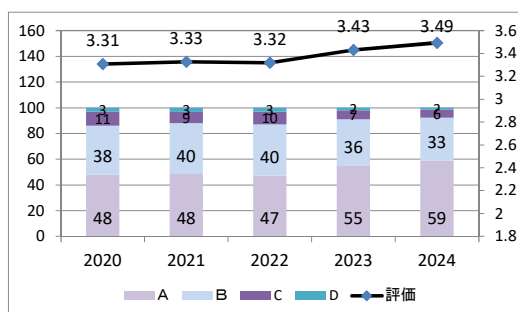
6 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか(中学校保護者対象)



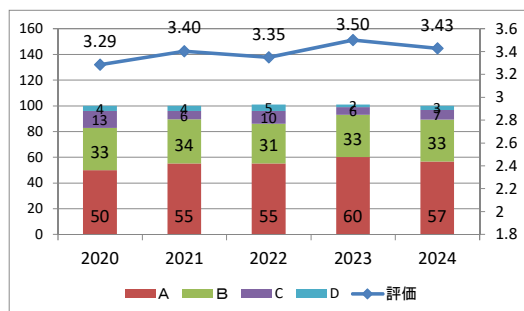
7 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援していると思うか(高校生対象)



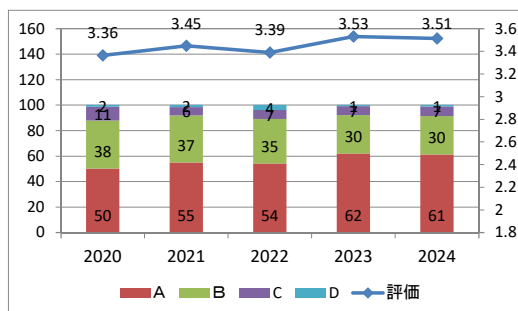
8 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか(高校生対象)



9 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援していると思うか(中学生対象)



10 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか(中学生対象)



縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

分類	大項目	No.	小項目	設 問 30項目	評価	A	B	C	D
学校 全般		○ 1		本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる。	3.53	58.6	37.9	1.7	1.7
		○ 2		本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い。	3.26	31.0	65.5	1.7	1.7
学 校 運 営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	建学の精神に基づく教育方針・教育目標は教職員・保護者などの関係者によく浸透している。	2.84	13.8	60.3	22.4	3.4
		4	合併の精神・併設校としての使命	関西大学と合併した意義や併設校としての使命が教職員に浸透している。	3.04	22.8	59.6	15.8	1.8
	教職員間連携	5	管理職と教員、教職員同士の連携	管理職と教員あるいは教職員同士の間で信頼関係を築く努力がなされている。	2.68	10.5	56.1	24.6	8.8
		6	ミドルマネジメントによる組織運営	主任(学年・分掌・教科)がミドルアップとミドルダウンに努め、組織運営が活性化している。	2.77	15.8	54.4	21.1	8.8
		○ 7	会議の有効性	職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。	2.81	20.7	48.3	22.4	8.6
		8	ハラスメントに関する研修	安心・安全な職場環境を形成するために、ハラスメントに対しての注意喚起および定期的な研修が行われている。	2.63	10.5	50.9	29.8	8.8
	情報公開	9	ホームページの活用	本校のホームページは、生徒や保護者にとって知りたい情報を有効に公開している。	2.86	17.5	54.4	24.6	3.5
	危機管理	10	初動対応	事故、事件、災害に対する初動対応が的確に行われる組織になっている。	2.82	19.3	50.9	22.8	7.0
		○ 11	避難訓練や安全対策	警察や消防署と連携し、避難訓練や安全講習会を開くなどの安全対策を講じている。	3.22	36.2	51.7	10.3	1.7
	地域との連携	12	地域連携の推進	自治会や近隣地域に対して、本校の教育活動に理解を得るための取組が行われている。	2.59	8.9	48.2	35.7	7.1
教 育 内 容	知 育	○ 13	学力向上における組織的な取組	学力向上のための、組織的な取組を行っている。	2.81	10.5	61.4	26.3	1.8
		○ 14	スローラーナーへの対応	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を行っている。	2.43	6.9	37.9	46.6	8.6
		○ 15	保護者との連携	学習状況の説明や家庭学習の把握のため、保護者との懇談や連絡を密に行っている。	2.97	19.0	62.1	15.5	3.4
	徳 育	○ 16	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒に学校や社会のルールを遵守させ、マナーやモラルを向上させる取組を行っている。	3.05	17.2	74.1	5.2	3.4
		○ 17	いじめへの対応	いじめの実態把握に努め、生徒が発する危険信号等を見逃さないようにして早期発見に努める体制が整い、学校組織として共有できている。	3.07	25.9	60.3	8.6	5.2
		18	ボランティア活動の推進	生徒に地域とのつながりを意識させ、清掃活動などの地域貢献が行われている。	2.79	15.8	52.6	26.3	5.3
	体 育	○ 19	健康な身体づくり	基本的生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導を行っている。	3.17	32.8	53.4	12.1	1.7
	人権教育	20	人権に対する指導体制	他者の人権を尊重する教育が計画的に行われている。	2.84	14.0	63.2	15.8	7.0
	学校間連携	○ 21	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われている。	3.26	46.6	36.2	13.8	3.4
生 徒 支 援	生徒指導	22	指導方針の一貫性	生徒指導が学校としての明確な方針のもとに行われている。	3.02	29.8	45.6	21.1	3.5
		23	組織的な指導体制・家庭との連携	生徒指導を組織的に行う体制ができており、教員間の意識の統一や家庭との連携も行われている。	2.88	25.0	42.9	26.8	5.4
	カウンセリング	○ 24	カウンセリング体制	生徒・保護者へのカウンセリングの体制を整えている。	3.24	36.2	53.4	8.6	1.7
	進路指導	25	進路指導体制	一人ひとりの進路を実現させる指導を、係を中心として組織的に行える体制ができています。	3.18	35.1	47.4	17.5	0.0
	生徒会活動	26	部活動支援状況	部活動を通じて生徒が成長できるよう学校全体で支援している。	3.40	50.9	40.4	7.0	1.8
		27	学校行事指導体制	学校行事を通じて生徒が主体的に活動できるよう、学校と保護者が協力して支援している。	3.19	36.8	49.1	10.5	3.5
教員研修 資質向上	教員の研修活動	○ 28	校内外における教員研修	本校は、教員の資質向上、生徒の知的好奇心を喚起する授業構成のための校内外の研修体制が充実している。	2.74	17.2	48.3	25.9	8.6
		29	教員相互の資質向上体制	教員間で授業を見学し合い、互いに切磋琢磨して授業力を向上させる取組をしている。	2.60	14.0	38.6	40.4	7.0
その他	国際化	30	国際理解	ALTによる授業、異文化交流あるいは語学研修等により、国際理解を深める体制がある。	3.11	32.7	49.1	14.5	3.6

注：○は併設校共通項目

A～Dの数字は全体に占める割合(%)

「評価」は評価基準(4段階)の平均

2024年度 教員個人の自己評価 点検・評価項目 一人 関西大学北陽高等学校・中学校 【資料1-2】

分類	大項目	No.		設 問 25項目	評価	A	B	C	D
学校運営	私学の独自性	1	教育方針・教育目標	建学の精神、関大北陽の中期ビジョン、教育方針をしっかりと理解をしている。	3.09	25.9	56.9	17.2	0.0
		2	併設校としての使命感	関西大学の併設校としての使命を理解した上で、生徒の指導に携わっている。	3.48	51.7	44.8	3.4	0.0
	教育課程	3	学習指導要領と年間指導計画	教科ごとに作成をしたシラバスに沿って授業を行なっている。	3.41	46.6	48.3	5.2	0.0
	教職員間連携	4	教職員間の連携	教員同士あるいは教員と職員間の相互理解と信頼関係づくりに努めている。	3.16	33.3	50.9	14.0	1.8
		5	会議の有効性	職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されるよう努めている。	3.16	40.4	42.1	10.5	7.0
	危機管理	6	初動対応および報告・連絡・相談	事故、事件、災害に対して的確な初動対応やタイムリーな報告・連絡・相談を行なっている。	3.37	49.1	40.4	8.8	1.8
	分掌と学年	7	分掌における役割	分掌における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。	3.47	53.4	41.4	3.4	1.7
		8	学年における役割	学年における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。	3.28	36.8	54.4	8.8	0.0
教育内容	知 育	9	基礎学力の習得	基礎基本(基礎学力)を身につけさせるために、重要項目の反復練習を十分に行っている。	3.12	28.1	57.9	12.3	1.8
		10	学力向上における組織的な取組	学力向上のために学年、教科として共通して取り組むべきところは協調しながら取り組んでいる。	3.37	49.1	40.4	8.8	1.8
		11	模試や入試問題の活用	模擬試験や大学入試などの問題分析を行い、授業や講習等に反映させている。	2.93	31.0	36.2	27.6	5.2
		12	スローラーナーへの対応	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を精力的に行っている。	2.47	12.3	35.1	40.4	12.3
		13	授業評価の活用	生徒の教員に対する授業評価を分析し、反省すべき点を把握し、今後の改善を図ろうとしている。	2.90	15.5	63.8	15.5	5.2
		14	保護者との連携	生徒の成績の伸びや学習状況に関して、保護者との懇談や連絡を密に行っている。	2.86	24.1	43.1	27.6	5.2
	徳 育	15	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒に対してマナーやモラルの大切さを喚起させ、自らの道徳心を高める努力をしている。	3.26	34.5	58.6	5.2	1.7
	体 育	16	健康な身体づくり	常に生徒の健康管理に気を配り、心身ともに健康な体づくりを促している。	3.28	36.2	55.2	8.6	0.0
	人権教育	17	人権に対する指導体制	生徒の人権を尊重し、対等の互惠関係を築く努力をしている。	3.12	27.6	58.6	12.1	1.7
	学校間連携	18	中高大連携事業の実践	関西大学との教育連携に対しての理解を深め、積極的に協力をしている。	3.23	36.8	52.6	7.0	3.5
生徒指導と支援	生徒指導	19	指導方針の一貫性	学校としての生徒指導の方針に従い、個々の生徒に対してしっかりと指導管理ができています。	3.07	19.0	70.7	8.6	1.7
		20	家庭との連携状況	生徒指導において、家庭との連携を密にし、連絡を取り合っている。	3.05	24.6	59.6	12.3	3.5
	進路指導	21	進路指導体制	生徒一人ひとりの個性と能力に合った進路指導を、進路指導係と連携して行っている。	3.07	27.6	55.2	13.8	3.4
	生徒会指導	22	部活動支援状況	生徒が心身ともに成長できるよう、クラブ活動を通して計画的に指導支援をしている。	3.39	47.4	43.9	8.8	0.0
		23	学校行事指導体制	学校行事や生徒会活動において、生徒同士が協力して主体的に活動できるよう指導支援をしている。	3.35	42.1	52.6	3.5	1.8
教員の 資質向上	教員研修	24	教員研修体制	学校内外の研修会に積極的に参加をし、教員としての資質を向上させるよう取り組んでいる。	2.78	19.0	43.1	34.5	3.4
		25	教員相互の援助体制	研究授業や授業見学を通して、教員同士で互いに切磋琢磨し、授業改善を図っている。	2.75	15.8	49.1	29.8	5.3
その他	ICT教育	26	ICT教育の推進	iPadやロイロノートなどのICTツールを有効に活用している。	3.34	48.2	37.5	14.3	0.0

注:○は併設校共通項目 A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準 A(4):そう思う B(3):どちらかといえばそう思う C(2):どちらかといえばそう思わない D(1):そう思わない

学校評価(教員対象) —「組織面の自己評価」の年次比較(過去4力年)— 【資料1-3】

			教員 組織面の自己評価																									
					2021年度					2022年度					2023年度					2024年度								
分類	大項目	小項目	NO.		評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D				
学校全般		学園生活	○ 1		3.33	36.1	60.7	3.3	0.0	3.28	29.5	68.9	1.6	0.0	3.43	45.9	50.8	3.3	0.0	3.53	58.6	37.9	1.7	1.7				
			○ 2		3.08	14.8	80.3	3.3	1.6	3.07	13.1	80.3	6.6	0.0	3.13	16.4	80.3	3.3	0.0	3.26	31.0	65.5	1.7	1.7				
学校運営	私学の独自性	教育方針・教育目標	○ 3		2.79	14.8	52.5	29.5	3.3	2.79	8.2	65.6	23.0	3.3	2.84	13.1	59.0	26.2	1.6	2.84	13.8	60.3	22.4	3.4				
		合併の精神・併設校としての使命	4		2.93	23.0	50.8	23.0	3.3	2.95	21.3	55.7	19.7	3.3	3.10	28.3	55.0	15.0	1.7	3.04	22.8	59.6	15.8	1.8				
	教育課程	学習指導要領と年間指導計画																										
		教職員間連携	管理職と教員、教職員同士の間の連携	5		2.64	11.5	50.8	27.9	9.8	2.75	13.1	57.4	21.3	8.2	2.78	13.3	56.7	25.0	5.0	2.68	10.5	56.1	24.6	8.8			
	ミドルマネジメントの組織運営		6		2.74	16.4	50.8	23.0	9.8	2.80	18.0	49.2	27.9	4.9	2.92	21.7	51.7	23.3	3.3	2.77	15.8	54.4	21.1	8.8				
	会議の有効性		○ 7		2.77	23.0	39.3	29.5	8.2	2.84	14.8	55.7	27.9	1.6	2.93	26.2	45.9	23.0	4.9	2.81	20.7	48.3	22.4	8.6				
	ハラスメントに関する研修		8		2.66	13.1	45.9	34.4	6.6	2.61	8.2	49.2	37.7	4.9	2.75	13.3	55.0	25.0	6.7	2.63	10.5	50.9	29.8	8.8				
	情報公開	ホームページの活用	○ 9		2.85	18.0	54.1	23.0	4.9	3.02	19.7	63.9	14.8	1.6	3.03	23.3	58.3	16.7	1.7	2.86	17.5	54.4	24.6	3.5				
		危機管理	初動対応		10		2.95	18.0	62.3	16.4	3.3	3.02	29.5	47.5	18.0	4.9	2.97	26.7	48.3	20.0	5.0	2.82	19.3	50.9	22.8	7.0		
	避難訓練や安全対策		○ 11		3.33	45.9	42.6	9.8	1.6	3.34	44.3	45.9	9.8	0.0	3.25	42.6	39.3	18.0	0.0	3.22	36.2	51.7	10.3	1.7				
	地域との連携	地域連携の推進	12		2.62	16.4	36.1	41.0	6.6	2.72	14.8	45.9	36.1	3.3	2.64	16.9	40.7	32.2	10.2	2.59	8.9	48.2	35.7	7.1				
		分掌と学年	分掌における役割																									
学年における役割																												
教育内容	知 育	基礎学力の習得																										
		学力向上における組織的な取組	○ 13		2.92	15.0	61.7	23.3	0.0	2.85	14.8	60.7	19.7	4.9	2.82	13.1	57.4	27.9	1.6	2.81	10.5	61.4	26.3	1.8				
		模試や入試問題の活用																										
		スローラーナーへの対応	○ 14		2.82	16.4	49.2	34.4	0.0	2.67	13.1	41.0	45.9	0.0	2.56	6.6	49.2	37.7	6.6	2.43	6.9	37.9	46.6	8.6				
		授業評価の活用																										
	徳 育	保護者との連携	○ 15		3.03	19.7	63.9	16.4	0.0	3.08	21.3	67.2	9.8	1.6	2.95	16.4	62.3	21.3	0.0	2.97	19.0	62.1	15.5	3.4				
		社会規範の理解とモラルの醸成	○ 16		3.23	37.7	47.5	14.8	0.0	3.00	24.6	54.1	18.0	3.3	3.11	26.2	60.7	11.5	1.6	3.05	17.2	74.1	5.2	3.4				
		いじめへの対応	17		3.25	37.7	50.8	9.8	1.6	3.13	27.9	60.7	8.2	3.3	3.02	23.0	55.7	21.3	0.0	3.07	25.9	60.3	8.6	5.2				
		ボランティア活動の推進	18		3.02	26.2	50.8	21.3	1.6	2.97	32.8	34.4	29.5	3.3	2.93	26.7	41.7	30.0	1.7	2.79	15.8	52.6	26.3	5.3				
	体 育	健康な身体づくり	○ 19		3.28	39.3	49.2	11.5	0.0	3.36	41.0	54.1	4.9	0.0	3.34	41.0	52.5	6.6	0.0	3.17	32.8	53.4	12.1	1.7				
人権教育		20		3.20	34.4	50.8	14.8	0.0	3.10	21.7	66.7	11.7	0.0	3.02	26.7	50.0	21.7	1.7	2.84	14.0	63.2	15.8	7.0					
学校間連携	中高大連携事業の実践	○ 21		3.44	57.4	31.1	9.8	1.6	3.23	39.3	47.5	9.8	3.3	3.20	36.1	47.5	16.4	0.0	3.26	46.6	36.2	13.8	3.4					
生徒指導	生徒指導	指導方針の一貫性	22		3.18	34.4	52.5	9.8	3.3	2.98	25.0	55.0	13.3	6.7	3.00	25.0	50.0	25.0	0.0	3.02	29.8	45.6	21.1	3.5				
		家庭との連携状況・組織的な指導体制	23		2.98	26.2	47.5	24.6	1.6	2.93	21.3	57.4	14.8	6.6	2.92	21.7	51.7	23.3	3.3	2.88	25.0	42.9	26.8	5.4				
生徒支援	カウンセリング	カウンセリング体制	○ 24		3.21	32.8	55.7	11.5	0.0	3.23	34.4	57.4	4.9	3.3	3.16	26.2	63.9	9.8	0.0	3.24	36.2	53.4	8.6	1.7				
	進路指導	進路指導体制		25		3.18	32.8	52.5	14.8	0.0	3.15	24.6	65.6	9.8	0.0	3.15	30.0	55.0	15.0	0.0	3.18	35.1	47.4	17.5	0.0			
		部活動支援状況	26		3.36	44.3	47.5	8.2	0.0	3.34	47.5	39.3	13.1	0.0	3.40	45.0	50.0	5.0	0.0	3.40	50.9	40.4	7.0	1.8				
	生徒会活動	学校行事指導体制		27		3.21	36.1	49.2	14.8	0.0	3.18	33.3	51.7	15.0	0.0	3.25	33.9	57.6	8.5	0.0	3.19	36.8	49.1	10.5	3.5			
教員の研修活動		校内外における教員研修	○ 28		2.97	21.3	54.1	24.6	0.0	2.88	16.7	60.0	18.3	5.0	2.62	11.7	48.3	30.0	10.0	2.74	17.2	48.3	25.9	8.6				
		教員相互の資質向上体制	29		2.56	11.5	41.0	39.3	8.2	2.57	10.0	45.0	36.7	8.3	2.46	6.78	45.8	33.9	13.6	2.60	14.0	38.6	40.4	7.0				
その他	国際化	国際理解	30		2.70	21.3	32.8	41.0	4.9	2.80	16.9	47.5	33.9	1.7	3.07	35.6	42.4	15.3	6.8	3.11	32.7	49.1	14.5	3.6				
					3.01						2.99						2.99						2.96					

注：○は併設校共通項目 A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準について A(4):そう思う B(3):どちらかといえばそう思う C(2):どちらかといえばそう思わない D(1):そう思わない

学校評価(教員対象) ―「個人面の自己評価」の年次比較(過去4力年)― 【資料1-4】

			教員 個人面の自己評価																				
			2021年度					2022年度					2023年度					2024年度					
分類	大項目	小項目		評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
学校全般		学園生活																					
学校運営	私学の独自性	教育方針・教育目標	1	3.11	29.5	54.1	14.8	1.6	3.16	21.7	63.3	15.0	0.0	3.03	23.0	59.0	16.4	1.6	3.09	25.9	56.9	17.2	0.0
		合併の精神・併設校としての使命	2	3.43	50.8	42.6	4.9	1.6	3.31	39.3	55.7	1.6	3.3	3.34	41.0	52.5	6.6	0.0	3.48	51.7	44.8	3.4	0.0
	教育課程	学習指導要領と年間指導計画	3	3.49	54.1	41.0	4.9	0.0	3.46	50.8	44.3	4.9	0.0	3.48	47.5	52.5	0.0	0.0	3.41	46.6	48.3	5.2	0.0
		教員間連携	4	3.26	45.9	36.1	16.4	1.6	3.20	37.7	45.9	14.8	1.6	3.23	36.1	54.1	6.6	3.3	3.16	33.3	50.9	14.0	1.8
	教職員間連携	管理職と教員との連携	5	3.25	39.3	49.2	8.2	3.3	3.16	29.5	60.7	6.6	3.3	3.20	37.7	45.9	14.8	1.6	3.16	40.4	42.1	10.5	7.0
		会議の有効性																					
	情報公開	ハラスメントに関する研修																					
		ホームページの活用																					
	危機管理	初動対応	6	3.49	52.5	44.3	3.3	0.0	3.37	43.3	51.7	3.3	1.7	3.25	37.7	49.2	13.1	0.0	3.37	49.1	40.4	8.8	1.8
		避難訓練や安全対策																					
地域との連携	地域連携の推進																						
	分掌と学年	7	3.41	49.2	42.6	8.2	0.0	3.39	50.8	41.0	4.9	3.3	3.48	50.8	45.9	3.3	0.0	3.47	53.4	41.4	3.4	1.7	
教育内容		学年における役割	8	3.33	42.6	49.2	6.6	1.6	3.28	37.7	52.5	9.8	0.0	3.25	36.1	52.5	11.5	0.0	3.28	36.8	54.4	8.8	0.0
		基礎学力の習得	9	3.23	37.7	49.2	11.5	1.6	3.15	31.1	54.1	13.1	1.6	3.15	31.1	54.1	13.1	1.6	3.12	28.1	57.9	12.3	1.8
	知 育	学力向上における組織的な取組	10	3.38	45.9	45.9	8.2	0.0	3.23	36.1	50.8	13.1	0.0	3.34	41.0	52.5	6.6	0.0	3.37	49.1	40.4	8.8	1.8
		模試や入試問題の活用	11	3.02	36.1	36.1	21.3	6.6	2.87	21.3	47.5	27.9	3.3	2.92	24.6	47.5	23.0	4.9	2.93	31.0	36.2	27.6	5.2
		スローラーナーへの対応	12	2.70	19.7	37.7	36.1	6.6	2.52	9.8	39.3	44.3	6.6	2.51	8.2	42.6	41.0	8.2	2.47	12.3	35.1	40.4	12.3
		授業評価の活用	13	3.10	34.4	44.3	18.0	3.3	2.92	18.0	57.4	23.0	1.6	2.92	19.7	55.7	21.3	3.3	2.90	15.5	63.8	15.5	5.2
	徳 育	保護者との連携	14	2.90	24.6	45.9	24.6	4.9	2.93	21.3	57.4	14.8	6.6	2.72	11.5	54.1	29.5	4.9	2.86	24.1	43.1	27.6	5.2
		社会規範の理解とモラルの醸成	15	3.31	44.3	42.6	13.1	0.0	3.25	34.4	55.7	9.8	0.0	3.31	37.7	57.4	3.3	1.6	3.26	34.5	58.6	5.2	1.7
		いじめへの対応																					
		ボランティア活動の推進																					
体 育	健康な身体づくり	16	3.39	52.5	36.1	9.8	1.6	3.28	44.3	39.3	16.4	0.0	3.28	41.0	47.5	9.8	1.6	3.28	36.2	55.2	8.6	0.0	
	人権教育	17	3.34	45.9	44.3	8.2	1.6	3.23	37.7	49.2	11.5	1.6	3.28	41.0	47.5	9.8	1.6	3.12	27.6	58.6	12.1	1.7	
生徒指導	学校間連携	中高大連携事業の実践	18	3.28	41.0	47.5	9.8	1.6	3.15	31.1	54.1	13.1	1.6	3.20	37.7	45.9	14.8	1.6	3.23	36.8	52.6	7.0	3.5
	生徒指導	指導方針の一貫性	19	3.25	37.7	50.8	9.8	1.6	3.31	37.7	57.4	3.3	1.6	3.23	32.8	59.0	6.6	1.6	3.07	19.0	70.7	8.6	1.7
		家庭との連携状況	20	3.13	32.8	49.2	16.4	1.6	3.13	34.4	47.5	14.8	3.3	3.11	27.9	57.4	13.1	1.6	3.05	24.6	59.6	12.3	3.5
		組織的な指導体制																					
		カウンセリング体制																					
	生徒支援	進路指導	21	3.11	34.4	45.9	16.4	3.3	3.18	27.9	62.3	9.8	0.0	3.11	26.2	60.7	11.5	1.6	3.07	27.6	55.2	13.8	3.4
		部活動支援状況	22	3.30	42.6	45.9	9.8	1.6	3.26	41.0	45.9	11.5	1.6	3.36	45.9	44.3	9.8	0.0	3.39	47.4	43.9	8.8	0.0
	教員の資質向上	学校行事指導体制	23	3.30	41.0	49.2	8.2	1.6	3.28	36.1	57.4	4.9	1.6	3.36	45.9	45.9	6.6	1.6	3.35	42.1	52.6	3.5	1.8
		教員研修	教員研修体制	24	2.90	27.9	37.7	31.1	3.3	2.93	27.9	42.6	24.6	4.9	2.69	11.5	50.8	32.8	4.9	2.78	19.0	43.1	34.5
	その他	ICT教育	教員相互の援助体制	25	2.92	27.9	41.0	26.2	4.9	2.67	16.7	41.7	33.3	8.3	2.59	11.5	47.5	29.5	11.5	2.75	15.8	49.1	29.8
ICT教育の推進			26	3.11	45.9	29.5	14.8	9.8	3.05	31.7	46.7	16.7	5.0	3.28	45.9	39.3	11.5	3.3	3.34	48.2	37.5	14.3	0.0
				3.21					3.14					3.14					3.14				

注：○は併設校共通項目 A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準について A(4):そう思う B(3):どちらかといえばそう思う C(2):どちらかといえばそう思わない D(1):そう思わない

2024年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート ―高中別― 【資料2①】

			高等学校					中学校				
		設 問（保護者対象） 20項目	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
1	学園生活	ご子女は、生き生きとした学校生活を送っていると思われますか。	3.43	56.6	32.9	8.1	2.3	3.47	55.0	38.1	5.7	1.3
2		保護者として、この学校に入学させて良かったと思われますか。	3.48	57.4	34.7	6.5	1.3	3.36	48.9	40.1	8.8	2.2
3	教育方針・教育目標	本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。	3.11	29.9	53.9	13.9	2.3	3.24	36.1	53.6	8.5	1.9
4	HPの活用	本校のホームページは、教育活動を知るために有効だと思われますか。	3.09	31.3	51.6	13.5	3.6	3.18	36.9	45.9	15.6	1.6
5	初動対応	事故やトラブルなどに対し、学校は迅速かつ確な対応が行われていると思われますか。	3.06	30.2	51.1	14.4	4.4	3.10	34.3	47.2	13.5	5.0
6	避難訓練や安全対策	避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じていると思われますか。	3.08	26.0	58.3	13.3	2.4	3.15	33.5	50.5	13.5	2.5
7	学力向上における組織的な取組	本校は学力向上のために組織的な取組を行っていると思われますか。	3.05	30.4	48.5	17.0	4.1	3.12	35.8	44.3	15.7	4.1
8	スローラーナーへの対応	習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取組が十分に行われていると思われますか。	2.78	19.2	47.1	26.4	7.3	2.82	25.6	41.0	24.6	8.8
9	保護者との連携	学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思われますか。	3.19	37.6	46.8	13.3	2.3	3.08	33.5	44.8	18.2	3.4
10	社会規範の理解とモラルの醸成	学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組が行われていると思われますか。	3.26	39.2	50.2	8.5	2.1	3.21	36.7	50.2	10.3	2.8
11	いじめへの対応	いじめを許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいると思われますか。	3.09	28.6	54.8	13.6	3.0	3.10	30.7	52.2	13.9	3.2
12	健康な身体づくり	基本的生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思われますか。	3.32	42.8	48.1	8.1	1.1	3.37	45.7	46.7	6.6	0.9
13	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われていると思われますか。	3.39	49.6	41.5	7.1	1.7	3.30	45.9	40.5	11.7	1.9
14	指導方針の一貫性	学校としての明確な方針のもとで生徒指導が行われていると思われますか。	3.19	34.7	52.5	10.4	2.4	3.16	35.5	48.7	12.9	2.8
15	家庭との連携状況	日頃から家庭への連絡など積極的に意思疎通を図っていると思われますか。	2.97	27.0	47.0	21.9	4.1	2.94	25.3	49.7	19.6	5.4
16	カウンセリング体制	子供に何らかの問題が生じたとき、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談できる体制ができていますか。	3.05	27.8	52.5	17.3	2.4	3.01	28.7	48.3	19.6	3.5
17	進路指導体制	一人ひとりの進路を実現するために、きめ細かな進路指導が行われていると思われますか。	3.08	33.1	46.7	16.2	4.1	2.92	25.6	46.4	23.0	5.0
18	部活動支援状況	クラブ活動を通して生徒の心身の成長が図られるよう学校全体で支援していると思われますか。	3.26	45.1	39.6	11.7	3.5	3.18	40.8	40.8	13.9	4.4
19	学校行事指導体制	学校行事に対して生徒が積極的に活動できるよう、学校と保護者が協力して取り組んでいると思われますか。	3.27	40.0	47.8	11.2	1.0	3.31	42.9	46.3	9.5	1.3
20	教員研修体制	本校の教員は、教材研究や指導力の向上に努めようとしていると思われますか。	3.05	28.2	51.7	17.0	3.1	3.05	29.3	51.6	15.3	3.8
21	事務室の対応	本校の事務室の対応（窓口・電話）は適切であり、誠意をもって対応していると思われますか。	3.38	47.6	45.6	4.9	1.9	3.30	46.0	43.2	7.6	3.2
22	家庭への連絡体制	メール配信やホームページなどで学校の情報が家庭へ適切に伝えられている。	3.39	50.9	39.7	8.1	1.3	3.31	47.6	41.7	7.5	3.3

評価平均	2024年度	3.18	3.17
	2023年度	3.19	3.17
	2022年度	3.18	3.20
	2021年度	3.15	3.25
	2020年度	3.11	3.10

2024年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート(高校) ー過去4カ年比較ー 【資料2-1】

				高等学校																				
				2021年度					2022年度				2023年度					2024年度						
分類	大項目	NO	小項目	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	
学校生活	満足度	○	1	学園生活	3.39	51.2	38.2	8.6	2.0	3.41	53.2	36.5	8.1	2.3	3.44	55.6	34.7	7.8	1.9	3.43	56.6	32.9	8.1	2.3
		○	2		3.37	51.8	36.3	9.4	2.5	3.42	54.0	35.5	8.8	1.7	3.45	56.4	34.2	7.1	2.3	3.48	57.4	34.7	6.5	1.3
学校運営	私学の独自性	○	3	教育方針・教育目標	3.09	28.4	55.3	13.4	2.9	3.13	29.2	55.7	13.6	1.5	3.10	28.8	55.4	13.5	2.3	3.11	29.9	53.9	13.9	2.3
	情報公開	○	4	HPの活用	3.04	30.1	47.9	18.5	3.6	3.16	35.1	48.2	14.9	1.8	3.14	35.1	47.3	15.0	2.6	3.09	31.3	51.6	13.5	3.6
	危機管理		5	初動対応	3.03	29.3	49.6	17.0	4.2	3.16	33.2	52.1	12.1	2.6	3.11	31.9	49.9	15.5	2.7	3.06	30.2	51.1	14.4	4.4
		○	6	避難訓練や安全対策	3.08	27.3	55.5	15.0	2.2	3.12	29.0	55.6	13.9	1.5	3.11	29.7	53.5	14.3	2.4	3.08	26.0	58.3	13.3	2.4
教育内容	知 育	○	7	学力向上における組織的な取組	2.98	27.6	48.2	19.5	4.7	3.08	32.0	47.7	16.9	3.3	3.06	31.2	48.4	16.0	4.5	3.05	30.4	48.5	17.0	4.1
		○	8	スローラーナーへの対応	2.86	22.1	48.8	22.5	6.6	2.85	22.0	46.8	25.3	5.8	2.83	21.0	47.9	24.4	6.7	2.78	19.2	47.1	26.4	7.3
		○	9	保護者との連携	3.14	35.3	47.1	14.4	3.3	3.18	37.4	46.3	12.9	3.4	3.17	37.7	44.3	14.8	3.2	3.19	37.6	46.8	13.3	2.3
	徳 育	○	10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.22	35.4	53.1	9.6	1.9	3.25	37.5	51.2	9.7	1.6	3.28	42.0	46.6	9.4	2.1	3.26	39.2	50.2	8.5	2.1
		○	11	いじめへの対応	3.14	30.6	54.5	13.4	1.5	3.16	31.9	53.9	12.3	1.9	3.12	29.7	55.4	12.4	2.5	3.09	28.6	54.8	13.6	3.0
	体 育	○	12	健康な身体づくり	3.28	39.4	49.8	10.0	0.9	3.30	41.9	47.5	9.6	1.0	3.32	42.5	47.9	8.4	1.2	3.32	42.8	48.1	8.1	1.1
	学校間連携	○	13	中高大連携事業の実践	3.22	38.2	46.7	13.6	1.5	3.29	43.4	44.6	10.1	2.0	3.37	49.2	40.5	9.2	1.1	3.39	49.6	41.5	7.1	1.7
生徒指導・生徒支援	生徒指導		14	指導方針の一貫性	3.15	33.2	51.6	13.0	2.2	3.15	35.8	46.8	15.1	2.4	3.18	36.1	48.5	12.3	3.1	3.19	34.7	52.5	10.4	2.4
			15	家庭との連携状況	2.99	28.2	47.8	20.0	4.1	3.00	28.3	47.3	20.2	4.1	2.98	27.0	48.6	19.8	4.7	2.97	27.0	47.0	21.9	4.1
	カウンセリング	○	16	カウンセリング体制	3.04	26.0	54.7	17.1	2.2	3.06	28.3	52.9	16.2	2.6	3.08	29.5	52.6	14.6	3.3	3.05	27.8	52.5	17.3	2.4
	進路指導		17	進路指導体制	3.07	31.3	47.6	18.2	2.9	3.08	32.7	47.0	16.2	4.1	3.07	33.6	44.8	16.4	5.2	3.08	33.1	46.7	16.2	4.1
	生徒会活動		18	部活動支援状況	3.23	43.7	39.3	13.6	3.3	3.21	41.7	41.4	13.6	3.3	3.26	45.2	39.9	11.3	3.7	3.26	45.1	39.6	11.7	3.5
			19	学校行事指導体制	3.09	29.5	52.8	15.3	2.4	3.12	32.2	49.3	16.5	2.1	3.22	38.1	47.9	11.8	2.2	3.27	40.0	47.8	11.2	1.0
教員研修	教員の研修活動	○	20	教員研修体制	3.03	26.0	53.3	18.1	2.6	3.06	26.8	55.4	15.2	2.7	3.02	27.6	50.6	18.4	3.4	3.05	28.2	51.7	17.0	3.1
その他	窓口対応		21	事務室の対応	3.43	51.4	41.6	6.0	1.0	3.38	46.9	46.4	5.2	1.5	3.43	53.2	39.0	5.7	2.2	3.38	47.6	45.6	4.9	1.9
			22	家庭への連絡体制	3.35	48.6	40.1	9.1	2.2	3.40	49.1	42.9	6.8	1.2	3.41	51.4	39.7	7.3	1.6	3.39	50.9	39.7	8.1	1.3

注：○は併設校共通項目 3.15 3.18 3.19 3.18

評価基準について A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそう思わない D: そう思わない

2024年度 学校評価 自己点検・評価項目

保護者対象アンケート(中学校)

—過去4力年比較—

【資料2-2】

中学校																								
					2021年度					2022年度					2023年度					2024年度				
分類	大項目	NO	小項目		評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
学校生活	満足度	○	1	学園生活	3.39	51.6	37.9	8.4	2.1	3.35	49.0	39.5	8.6	2.9	3.41	52.1	38.1	8.2	1.5	3.47	55.0	38.1	5.7	1.3
		○	2		3.37	50.7	37.3	10.1	1.8	3.39	52.4	35.1	11.2	1.3	3.35	48.0	40.7	9.4	1.8	3.36	48.9	40.1	8.8	2.2
学校運営	私学の独自性	○	3	教育方針・教育目標	3.27	37.6	51.6	10.4	0.3	3.21	34.0	54.8	9.0	2.2	3.15	32.0	52.4	14.9	0.6	3.24	36.1	53.6	8.5	1.9
	情報公開	○	4	HPの活用	3.17	39.1	41.8	16.1	3.0	3.23	38.5	47.1	12.7	1.6	3.26	39.8	47.7	10.6	1.8	3.18	36.9	45.9	15.6	1.6
	危機管理		5	初動対応	3.32	44.3	45.5	8.1	2.1	3.20	38.7	46.0	12.5	2.9	3.22	40.7	42.9	14.0	2.4	3.10	34.3	47.2	13.5	5.0
		○	6	避難訓練や安全対策	3.25	38.5	49.6	10.1	1.8	3.23	35.1	53.4	10.9	0.6	3.16	31.3	54.7	12.8	1.2	3.15	33.5	50.5	13.5	2.5
教育内容	知 育	○	7	学力向上における組織的な取組	3.28	44.5	41.5	11.6	2.4	3.15	39.2	40.4	16.6	3.8	3.10	36.2	40.7	19.8	3.3	3.12	35.8	44.3	15.7	4.1
		○	8	スローラーナーへの対応	3.11	35.2	44.5	16.4	3.9	2.88	26.2	42.8	23.3	7.7	2.87	25.9	42.7	25.0	6.4	2.82	25.6	41.0	24.6	8.8
		○	9	保護者との連携	3.30	45.7	40.6	12.2	1.5	3.25	41.4	44.9	11.1	2.5	3.13	36.5	43.8	16.4	3.3	3.08	33.5	44.8	18.2	3.4
	徳 育	○	10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.37	45.7	47.5	5.1	1.8	3.33	44.1	47.0	6.4	2.6	3.25	38.9	49.2	10.0	1.8	3.21	36.7	50.2	10.3	2.8
		○	11	いじめへの対応	3.22	36.4	50.7	11.3	1.5	3.13	35.4	47.1	12.7	4.8	3.02	26.2	53.7	16.5	3.7	3.10	30.7	52.2	13.9	3.2
	体 育	○	12	健康な身体づくり	3.35	44.2	47.5	7.5	0.9	3.35	45.0	46.3	7.7	1.0	3.40	48.5	44.5	5.8	1.2	3.37	45.7	46.7	6.6	0.9
	学校間連携	○	13	中高大連携事業の実践	3.16	34.8	47.6	16.1	1.5	3.19	38.7	43.1	16.6	1.6	3.29	44.4	41.3	13.1	1.2	3.30	45.9	40.5	11.7	1.9
生徒指導・生徒支援	生徒指導		14	指導方針の一貫性	3.28	38.8	51.3	9.0	0.9	3.18	36.3	47.5	13.7	2.5	3.14	33.1	50.5	13.7	2.7	3.16	35.5	48.7	12.9	2.8
			15	家庭との連携状況	3.18	37.9	44.2	16.1	1.8	3.09	35.8	39.9	21.7	2.6	2.96	27.4	46.6	21.3	4.6	2.94	25.3	49.7	19.6	5.4
	カウンセリング	○	16	カウンセリング体制	3.11	31.0	51.3	15.5	2.1	3.12	32.9	47.9	17.6	1.6	3.12	32.0	49.7	17.4	0.9	3.01	28.7	48.3	19.6	3.5
	進路指導		17	進路指導体制	2.99	28.7	45.4	22.4	3.6	2.93	26.4	43.3	27.1	3.2	2.87	23.5	46.0	24.7	5.8	2.92	25.6	46.4	23.0	5.0
	生徒会活動		18	部活動支援状況	3.19	42.2	39.2	14.7	3.9	3.12	37.4	41.0	17.7	3.9	3.11	37.1	40.7	18.2	4.0	3.18	40.8	40.8	13.9	4.4
			19	学校行事指導体制	3.16	35.8	45.1	18.5	0.6	3.11	31.3	50.5	16.3	1.9	3.23	36.5	51.1	11.6	0.9	3.31	42.9	46.3	9.5	1.3
教員研修	教員の研修活動	○	20	教員研修体制	3.20	34.6	51.0	13.7	0.6	3.10	31.8	47.5	19.1	1.6	3.03	25.6	54.0	18.3	2.1	3.05	29.3	51.6	15.3	3.8
その他	窓口対応		21	事務室の対応	3.42	51.3	40.3	7.2	1.2	3.32	44.9	45.2	8.3	1.6	3.36	48.6	41.9	6.1	3.3	3.30	46.0	43.2	7.6	3.2
			22	家庭への連絡体制	3.51	58.3	35.4	5.7	0.6	3.51	58.3	35.4	5.7	0.6	3.40	50.2	41.3	7.0	1.5	3.31	47.6	41.7	7.5	3.3

注：○は併設校共通項目

3.25

3.20

3.17

3.17

評価基準について

A: と思う

B: どちらかといえばと思う

C: どちらかといえばそう思わない

D: そう思わない

2024年度 学校評価 自己点検・評価項目 生徒対象アンケート ―高中別― 【資料2②】

			高等学校全体					中学校全体				
	小項目	設 問（生徒対象） 20項目	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
1	学園生活	学校生活は楽しいと感じていますか。	3.49	58.9	32.5	7.2	1.4	3.58	66.0	27.8	4.1	2.1
2		この学校に入学して良かったと思いますか。	3.27	43.4	42.5	11.5	2.6	3.48	58.0	33.4	7.1	1.5
3	教育方針・教育目標	本校の教育方針を理解していますか。	2.91	24.5	47.2	23.0	5.4	3.06	35.1	44.0	13.7	7.1
4	HPの活用	本校のホームページは、学校行事などの必要な情報がタイムリーに更新されていますか。	3.17	38.1	44.0	14.9	3.0	3.31	45.2	41.4	12.2	1.2
5	初動対応	事故やトラブルなどに対し、学校は迅速かつ的確な対応が行われていると思いますか。	3.18	38.5	44.8	13.2	3.6	3.31	47.9	37.5	12.5	2.1
6	避難訓練や安全対策	事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか。	3.41	51.6	39.1	7.8	1.4	3.41	54.9	32.6	10.7	1.8
7	学力向上における組織的な取組	授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。	3.15	36.2	45.9	15.0	2.9	3.33	48.1	38.6	11.6	1.8
8	スローラーナーへの対応	成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえる仕組みがあると感じていますか。	2.98	30.2	42.6	21.9	5.3	3.31	47.8	37.1	13.1	2.1
9	保護者との連携	自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	3.22	42.5	39.9	14.5	3.2	3.36	53.9	32.4	11.0	2.7
10	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。	3.22	40.6	43.8	13.0	2.7	3.31	45.5	43.8	8.0	2.7
11	いじめへの対応	いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。	3.16	38.7	42.0	15.9	3.4	3.25	44.8	39.2	12.5	3.6
12	健康な身体づくり	基本的生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。	3.41	51.9	38.1	8.8	1.2	3.51	60.3	31.9	7.5	0.3
13	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携があると思いますか。	3.44	56.0	33.7	9.1	1.3	3.54	64.8	26.9	6.2	2.1
14	指導方針の一貫性	守るべき学校のルールやマナーについて、よくわかるように説明と指導を受けていますか。	3.34	46.9	42.7	8.4	2.0	3.40	55.4	32.7	8.3	3.6
15	家庭との連携状況	日頃から家庭への連絡など積極的に意思疎通を図っていると思いますか。	3.18	37.6	44.9	15.3	2.2	3.32	47.0	40.2	10.7	2.1
16	カウンセリング体制	悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談できる体制ができていると思いますか。	3.25	40.9	46.0	11.2	2.0	3.21	44.2	37.7	13.9	4.2
17	進路指導体制	生徒一人ひとりの進路を実現させるために、きめ細かな進路指導を行っていると思いますか。	3.31	45.3	42.3	10.8	1.6	3.30	47.2	38.6	11.3	3.0
18	部活動支援状況	クラブ活動を通して生徒の成長が図られるよう学校全体で支援していると思いますか。	3.43	53.7	36.9	7.7	1.7	3.43	56.7	32.6	7.4	3.3
19	学校行事指導体制	学園祭などの学校行事に対して、生徒が積極的に活動できるように配慮していると感じますか。	3.49	58.8	33.3	6.4	1.5	3.51	61.1	30.3	7.4	1.2
20	校内外における教員研修	工夫された授業やおもしろい実験などが取り入れられていると思いますか。	3.01	32.3	41.6	21.4	4.7	3.31	49.6	34.3	13.7	2.4
21	国際理解	ネイティブとの授業（オンライン学習含む）、語学研修等により、国際理解を深める機会がありますか。	3.35	49.0	39.5	8.8	2.7	3.26	47.6	34.3	14.5	3.6

評価平均 2024年度 3.26

3.36

2023年度 3.23

3.42

2022年度 3.17

3.37

2021年度 3.22

3.35

2020年度 3.14

3.25

2024年度 学校評価（生徒対象）アンケート（高校） ―3カ年の推移―

【資料2-3】

				2022年度					学年別評価			2023年度					学年別評価			2024年度					学年別評価		
分類	大項目	NO	小項目	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.42	53.7	36.3	8.3	1.6	3.39	3.47	3.41	3.43	54.6	36.3	6.8	2.4	3.38	3.42	3.49	3.49	58.9	32.5	7.2	1.4	3.43	3.46	3.59
		○ 2		3.13	36.5	44.6	14.1	4.7	3.08	3.14	3.18	3.19	40.3	42.8	12.8	4.2	3.15	3.06	3.38	3.27	43.4	42.5	11.5	2.6	3.14	3.24	3.44
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	2.84	23.1	45.7	23.6	7.7	2.77	2.87	2.88	2.97	26.7	48.9	19.1	5.3	2.92	2.89	3.12	2.91	24.5	47.2	23.0	5.4	2.89	2.82	3.02
	情報公開	○ 4	HPの活用	3.07	33.0	46.0	15.7	5.2	3.05	3.08	3.07	3.20	39.5	44.6	12.8	3.1	3.25	3.14	3.20	3.17	38.1	44.0	14.9	3.0	3.13	3.15	3.24
	危機管理	5	初動対応	3.13	35.1	47.1	14.0	3.8	3.15	3.10	3.14	3.20	39.4	45.0	12.4	3.2	3.25	3.15	3.19	3.18	38.5	44.8	13.2	3.6	3.22	3.15	3.17
		○ 6	避難訓練や安全対策	3.32	44.4	44.6	9.5	1.5	3.29	3.28	3.40	3.35	48.2	40.8	8.4	2.6	3.39	3.30	3.34	3.41	51.6	39.1	7.8	1.4	3.41	3.42	3.39
教育内容	知 育	○ 7	学力向上における組織的な取組	2.99	27.8	48.2	19.5	4.5	2.89	3.03	3.08	3.07	31.3	48.4	16.0	4.3	3.05	2.96	3.20	3.15	36.2	45.9	15.0	2.9	3.09	3.10	3.26
		○ 8	スローラーナーへの対応	2.94	27.9	42.9	24.0	5.1	2.79	3.07	2.97	2.96	29.7	42.1	22.4	5.8	2.93	2.80	3.16	2.98	30.2	42.6	21.9	5.3	2.95	2.98	3.00
		○ 9	保護者との連携	3.13	37.9	40.7	17.4	4.0	3.14	3.17	3.07	3.19	42.2	38.9	15.1	3.8	3.21	3.10	3.26	3.22	42.5	39.9	14.5	3.2	3.24	3.21	3.19
	徳 育	○ 10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.16	38.5	42.9	14.6	4.0	3.15	3.18	3.15	3.21	39.9	45.1	11.5	3.5	3.27	3.16	3.21	3.22	40.6	43.8	13.0	2.7	3.27	3.20	3.19
		○ 11	いじめへの対応	3.11	35.6	44.0	15.6	4.8	3.04	3.15	3.13	3.12	37.4	42.6	14.6	5.4	3.17	3.04	3.16	3.16	38.7	42.0	15.9	3.4	3.21	3.07	3.20
	体 育	○ 12	健康な身体づくり	3.30	44.6	42.6	10.3	2.5	3.37	3.27	3.24	3.35	47.0	42.5	8.5	2.0	3.43	3.30	3.30	3.41	51.9	38.1	8.8	1.2	3.41	3.37	3.45
	学校間連携	○ 13	中高大連携事業の実践	3.31	49.2	36.1	10.9	3.8	3.39	3.20	3.32	3.39	52.8	36.1	8.7	2.4	3.44	3.40	3.33	3.44	56.0	33.7	9.1	1.3	3.45	3.43	3.45
生徒指導・生徒支援	生徒指導	14	指導方針の一貫性	3.23	43.1	40.6	12.2	4.1	3.23	3.22	3.24	3.24	44.0	40.5	11.4	4.1	3.34	3.15	3.24	3.34	46.9	42.7	8.4	2.0	3.39	3.29	3.34
		15	家庭との連携状況	3.07	33.1	44.3	18.7	3.9	3.00	3.13	3.08	3.16	39.8	40.2	16.5	3.5	3.18	3.07	3.24	3.18	37.6	44.9	15.3	2.2	3.22	3.12	3.19
	カウンセリング	○ 16	カウンセリング体制	3.13	35.7	45.2	15.5	3.7	3.18	3.07	3.14	3.19	38.7	45.1	12.5	3.8	3.22	3.17	3.17	3.25	40.9	46.0	11.2	2.0	3.30	3.21	3.24
	進路指導	17	進路指導体制	3.21	39.4	44.6	13.3	2.7	3.18	3.21	3.23	3.24	42.1	43.3	11.5	3.1	3.31	3.15	3.27	3.31	45.3	42.3	10.8	1.6	3.29	3.30	3.35
	生徒会活動	18	部活動支援状況	3.32	47.9	39.3	9.3	3.4	3.27	3.34	3.35	3.36	51.2	37.3	7.8	3.7	3.39	3.35	3.34	3.43	53.7	36.9	7.7	1.7	3.44	3.42	3.43
		19	学校行事指導体制	3.32	47.3	40.1	9.8	2.8	3.29	3.35	3.32	3.43	54.6	36.0	7.3	2.1	3.48	3.41	3.39	3.49	58.8	33.3	6.4	1.5	3.50	3.51	3.46
教員研修	教員の研修活動	○ 20	教員研修体制	2.96	29.8	43.3	19.0	7.8	2.75	3.09	3.05	2.97	31.0	41.9	20.5	6.5	2.98	2.82	3.13	3.01	32.3	41.6	21.4	4.7	3.02	2.96	3.05
その他	国際理解	21	国際理解を深める機会	3.45	55.9	34.7	7.7	1.8	3.43	3.44	3.48	3.51	60.9	31.7	5.1	2.3	3.58	3.44	3.52	3.35	49.0	39.5	8.8	2.7	3.19	3.43	3.45

注：○は併設校共通項目

評価基準について

A(4): と思う B(3): どちらかといえばと思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

2024年度 学校評価(生徒対象)アンケート (中学校) ―3か年の推移―

【資料2-4】

分類	大項目	NO	小項目	2022年度(全学年)					学年別評価			2023年度(全学年)					学年別評価			2024年度(全学年)					学年別評価		
				評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.42	57.7	29.9	9.4	3.0	3.55	3.30	3.43	3.52	62.7	28.3	6.9	2.0	3.52	3.64	3.39	3.58	66.0	27.8	4.1	2.1	3.44	3.59	3.70
		○ 2		3.39	53.8	35.4	7.2	3.6	3.54	3.34	3.30	3.42	55.2	32.9	10.1	1.7	3.48	3.49	3.28	3.48	58.0	33.4	7.1	1.5	3.38	3.46	3.60
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	3.01	33.0	40.8	19.8	6.3	3.26	2.83	2.93	3.11	33.7	48.0	13.7	4.7	3.12	3.18	3.03	3.06	35.1	44.0	13.7	7.1	2.91	2.98	3.32
	情報公開	○ 4	HPの活用	3.34	50.3	37.3	8.7	3.6	3.50	3.27	3.26	3.36	49.1	40.2	8.7	2.0	3.33	3.55	3.24	3.31	45.2	41.4	12.2	1.2	3.19	3.25	3.49
	危機管理	○ 5	初動対応	3.41	56.9	31.6	6.6	4.8	3.58	3.30	3.34	3.39	52.6	35.3	10.7	1.4	3.43	3.50	3.25	3.31	47.9	37.5	12.5	2.1	3.21	3.25	3.49
		○ 6	避難訓練や安全対策	3.50	61.6	29.4	6.9	2.1	3.53	3.43	3.56	3.53	60.3	32.8	6.4	0.6	3.46	3.63	3.50	3.41	54.9	32.6	10.7	1.8	3.31	3.38	3.53
教育内容	知 育	○ 7	学力向上における組織的な取組	3.34	49.8	37.5	9.6	3.0	3.52	3.26	3.25	3.34	49.9	38.6	7.8	3.8	3.27	3.49	3.29	3.33	48.1	38.6	11.6	1.8	3.25	3.23	3.52
		○ 8	スローラーナーへの対応	3.34	52.3	32.6	12.7	2.4	3.47	3.23	3.32	3.38	53.3	34.2	9.9	2.6	3.46	3.46	3.23	3.31	47.8	37.1	13.1	2.1	3.07	3.33	3.50
		○ 9	保護者との連携	3.39	54.7	33.6	8.1	3.6	3.51	3.32	3.35	3.37	51.2	36.7	10.4	1.7	3.28	3.58	3.29	3.36	53.9	32.4	11.0	2.7	3.18	3.28	3.65
	徳 育	○ 10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.32	49.7	36.1	11.7	2.4	3.42	3.21	3.33	3.40	51.2	39.6	7.2	2.0	3.38	3.51	3.32	3.31	45.5	43.8	8.0	2.7	3.26	3.20	3.49
		○ 11	いじめへの対応	3.33	53.8	30.6	10.5	5.1	3.52	3.21	3.26	3.32	48.6	37.0	11.8	2.6	3.23	3.51	3.23	3.25	44.8	39.2	12.5	3.6	3.15	3.11	3.51
	体 育	○ 12	健康な身体づくり	3.48	56.2	37.2	4.8	1.8	3.61	3.41	3.41	3.56	61.2	33.9	4.3	0.6	3.58	3.67	3.43	3.51	60.3	31.9	7.5	0.3	3.31	3.55	3.67
	学校間連携	○ 13	中高大連携事業の実践	3.49	63.4	25.8	7.5	3.3	3.58	3.45	3.45	3.60	66.2	27.5	6.1	0.3	3.59	3.73	3.48	3.54	64.8	26.9	6.2	2.1	3.51	3.46	3.68
生徒指導・生徒支援	生徒指導	○ 14	指導方針の一貫性	3.47	60.1	30.6	5.4	3.9	3.63	3.46	3.30	3.48	57.7	35.1	5.2	2.0	3.50	3.60	3.35	3.40	55.4	32.7	8.3	3.6	3.28	3.41	3.50
		○ 15	家庭との連携状況	3.38	52.9	36.0	7.5	3.6	3.51	3.36	3.27	3.35	45.7	44.8	8.4	1.2	3.25	3.43	3.38	3.32	47.0	40.2	10.7	2.1	3.20	3.27	3.50
	カウンセリング	○ 16	カウンセリング体制	3.24	46.5	36.9	11.5	5.1	3.43	3.11	3.17	3.29	47.0	39.1	10.1	3.8	3.12	3.51	3.28	3.21	44.2	37.7	13.9	4.2	2.93	3.25	3.45
	進路指導	○ 17	進路指導体制	3.35	52.9	34.1	9.4	3.6	3.54	3.23	3.29	3.35	47.8	41.2	9.0	2.0	3.33	3.50	3.24	3.30	47.2	38.6	11.3	3.0	3.00	3.33	3.57
		○ 18	部活動支援状況	3.35	55.1	30.7	9.6	4.5	3.41	3.35	3.30	3.50	59.5	32.7	6.1	1.7	3.45	3.57	3.49	3.43	56.7	32.6	7.4	3.3	3.35	3.32	3.63
	生徒会活動	○ 19	学校行事指導体制	3.39	53.8	35.1	7.2	3.9	3.55	3.35	3.26	3.53	61.7	30.1	7.2	0.9	3.60	3.63	3.35	3.51	61.1	30.3	7.4	1.2	3.38	3.49	3.68
教員研修	教員の研修活動	○ 20	教員研修体制	3.31	51.4	33.0	10.8	4.8	3.56	3.25	3.11	3.42	55.2	33.5	9.0	2.3	3.46	3.57	3.23	3.31	49.6	34.3	13.7	2.4	3.06	3.34	3.53
その他	国際理解	○ 21	国際理解を深める機会	3.50	64.9	25.2	5.2	4.6	3.58	3.46	3.48	3.62	68.5	25.6	5.1	0.9	3.56	3.73	3.57	3.26	47.6	34.3	14.5	3.6	2.83	3.32	3.62

注：○は併設校共通項目

評価基準について 4: そう思う 3: どちらかといえばそう思う 2: どちらかといえばそう思わない 1: そう思わない

2024年度 授業評価分析資料(教科別)

2024年11月実施

関西大学北陽高等学校・中学校

【資料3-1】

設問\評価	国 語					社 会					数 学					理 科					英 語				
	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
自己評価	3.50	3.47	3.52	3.51	3.65	3.51	3.64	3.56	3.55	3.70	3.46	3.48	3.51	3.44	3.46	3.44	3.57	3.58	3.49	3.58	3.45	3.53	3.49	3.53	3.58
1	3.79	80.2%	19.1%	0.6%	0.1%	3.80	81.5%	17.0%	1.6%	0.0%	3.63	67.0%	29.2%	3.4%	0.4%	3.68	70.2%	27.1%	2.6%	0.0%	3.73	75.8%	22.1%	1.8%	0.3%
2	3.74	76.5%	21.1%	2.3%	0.1%	3.85	85.6%	13.3%	1.0%	0.0%	3.55	64.5%	27.8%	6.5%	1.3%	3.69	71.2%	26.2%	2.6%	0.0%	3.70	73.8%	22.9%	3.0%	0.3%
3	3.41	54.9%	32.6%	11.0%	1.5%	3.44	56.3%	32.8%	9.5%	1.4%	3.19	44.3%	34.0%	18.3%	3.4%	3.38	54.0%	31.9%	11.9%	2.1%	3.29	47.0%	37.4%	13.7%	1.9%
授業評価	3.61	3.57	3.69	3.56	3.70	3.65	3.75	3.71	3.61	3.72	3.62	3.64	3.66	3.57	3.67	3.62	3.61	3.71	3.71	3.61	3.63	3.67	3.69	3.67	3.69
4	3.76	80.2%	15.9%	3.2%	0.7%	3.70	75.7%	19.4%	3.6%	1.2%	3.72	77.3%	18.1%	3.8%	0.8%	3.60	69.5%	22.4%	6.4%	1.7%	3.74	78.7%	17.4%	3.5%	0.4%
5	3.77	80.0%	17.1%	2.4%	0.5%	3.76	80.6%	15.4%	2.9%	1.0%	3.75	78.7%	18.3%	2.1%	0.8%	3.73	75.7%	21.2%	3.1%	0.0%	3.74	77.1%	20.2%	2.5%	0.3%
6	3.70	74.6%	21.6%	2.7%	1.1%	3.69	73.9%	22.1%	2.9%	1.0%	3.62	70.8%	22.0%	5.8%	1.4%	3.49	61.0%	28.6%	9.0%	1.4%	3.66	72.1%	22.8%	4.6%	0.6%
7	3.59	69.3%	22.3%	6.2%	2.2%	3.69	77.2%	16.6%	4.0%	2.2%	3.61	72.4%	18.9%	5.9%	2.8%	3.54	63.8%	27.6%	7.1%	1.4%	3.69	74.9%	20.9%	3.0%	1.2%
8	3.72	76.3%	20.1%	2.5%	1.0%	3.77	81.3%	15.2%	2.8%	0.7%	3.74	77.9%	19.0%	2.4%	0.7%	3.69	74.3%	20.7%	4.3%	0.7%	3.76	79.4%	17.7%	2.6%	0.8%
9	3.66	73.2%	20.5%	5.6%	0.7%	3.72	76.8%	19.0%	3.6%	0.5%	3.72	77.3%	18.6%	3.1%	1.0%	3.55	64.5%	28.3%	5.2%	1.9%	3.66	73.1%	21.0%	5.1%	0.8%
10	3.74	76.9%	20.3%	2.2%	0.6%	3.74	77.2%	20.2%	1.9%	0.7%	3.75	78.7%	18.8%	1.7%	0.8%	3.70	75.2%	20.2%	3.3%	1.2%	3.75	78.2%	18.9%	2.5%	0.4%
11	3.70	73.9%	22.8%	2.7%	0.6%	3.70	73.7%	23.0%	2.8%	0.5%	3.73	76.6%	20.5%	2.3%	0.7%	3.70	75.0%	20.2%	4.3%	0.5%	3.72	74.7%	22.4%	2.6%	0.3%
12	3.75	78.5%	18.8%	1.8%	0.9%	3.78	80.9%	16.3%	2.3%	0.5%	3.66	70.4%	26.1%	2.8%	0.7%	3.64	68.3%	27.4%	3.8%	0.5%	3.69	73.5%	22.1%	4.1%	0.3%
13	3.76	80.0%	16.6%	2.8%	0.6%	3.69	74.9%	20.2%	4.0%	0.9%	3.67	72.1%	23.4%	3.9%	0.6%	3.69	74.3%	21.2%	3.3%	1.2%	3.74	78.7%	17.1%	3.6%	0.6%
14	3.63	69.5%	24.8%	4.6%	1.1%	3.70	75.6%	19.8%	3.5%	1.2%	3.45	58.8%	29.8%	9.4%	2.0%	3.44	60.2%	27.6%	8.1%	4.0%	3.55	66.3%	24.6%	7.3%	1.8%
15	3.68	73.4%	22.1%	3.4%	1.1%	3.70	74.4%	21.8%	3.1%	0.7%	3.61	68.4%	25.2%	5.1%	1.3%	3.58	65.6%	28.9%	3.8%	1.7%	3.61	70.0%	22.8%	5.8%	1.4%
16	3.66	71.4%	24.2%	3.6%	0.8%	3.68	74.3%	21.0%	3.1%	1.6%	3.61	68.2%	25.7%	5.1%	1.0%	3.54	63.3%	28.5%	7.0%	1.2%	3.60	66.2%	29.0%	4.0%	0.8%

設問\評価	保健体育					芸 術					情 報					技術・家庭				
	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
自己評価	3.71	3.74	3.74	3.72	3.78	3.37	3.75	###	3.73	###	3.84	3.92	3.72	3.62	3.88	3.74	3.66	3.58	3.73	3.72
1	3.88	88.6%	11.1%	0.3%	0.0%	#####	#####	#####	#####	#####	3.93	93.2%	6.8%	0.0%	0.0%	3.83	84.2%	14.4%	1.4%	0.0%
2	3.84	85.2%	13.6%	1.0%	0.2%	#####	#####	#####	#####	#####	3.90	89.8%	10.2%	0.0%	0.0%	3.81	82.2%	16.4%	1.4%	0.0%
3	3.61	66.4%	28.0%	5.5%	0.2%	#####	#####	#####	#####	#####	3.81	81.4%	18.6%	0.0%	0.0%	3.53	59.6%	34.2%	5.5%	0.7%
授業評価	3.75	3.80	3.80	3.79	3.84	3.44	3.80	###	3.86	###	3.89	3.94	3.77	3.81	3.92	3.73	3.62	3.61	3.81	3.82
4	3.87	88.6%	9.9%	1.4%	0.2%	#####	#####	#####	#####	#####	3.98	98.3%	1.7%	0.0%	0.0%	3.87	89.0%	8.9%	2.1%	0.0%
5	3.87	87.2%	12.3%	0.5%	0.0%	#####	#####	#####	#####	#####	3.86	86.4%	13.6%	0.0%	0.0%	3.79	81.5%	16.4%	2.1%	0.0%
6	3.85	86.2%	12.9%	0.9%	0.0%	#####	#####	#####	#####	#####	3.93	93.2%	6.8%	0.0%	0.0%	3.84	85.6%	12.3%	2.1%	0.0%
7	3.82	84.2%	13.6%	1.9%	0.3%	#####	#####	#####	#####	#####	3.95	94.9%	5.1%	0.0%	0.0%	3.84	84.8%	14.5%	0.7%	0.0%
8	3.87	88.6%	10.2%	1.0%	0.2%	#####	#####	#####	#####	#####	3.95	94.9%	5.1%	0.0%	0.0%	3.82	83.6%	15.1%	0.7%	0.7%
9	3.85	86.5%	12.4%	0.9%	0.2%	#####	#####	#####	#####	#####	3.92	91.5%	8.5%	0.0%	0.0%	3.84	86.3%	12.3%	0.7%	0.7%
10	3.85	85.5%	14.1%	0.2%	0.2%	#####	#####	#####	#####	#####	3.95	94.9%	5.1%	0.0%	0.0%	3.82	84.2%	13.7%	2.1%	0.0%
11	3.83	84.7%	13.6%	1.7%	0.0%	#####	#####	#####	#####	#####	3.92	93.2%	5.1%	1.7%	0.0%	3.82	82.9%	15.8%	1.4%	0.0%
12	3.84	85.0%	14.3%	0.5%	0.2%	#####	#####	#####	#####	#####	3.86	86.4%	13.6%	0.0%	0.0%	3.84	85.6%	13.0%	1.4%	0.0%
13	3.80	82.5%	15.0%	2.6%	0.0%	#####	#####	#####	#####	#####	3.92	91.5%	8.5%	0.0%	0.0%	3.79	80.8%	17.8%	1.4%	0.0%
14	3.81	81.4%	17.7%	0.9%	0.0%	#####	#####	#####	#####	#####	3.81	83.1%	15.3%	1.7%	0.0%	3.69	74.7%	21.2%	2.7%	1.4%
15	3.84	84.7%	14.8%	0.5%	0.0%	#####	#####	#####	#####	#####	3.97	96.6%	3.4%	0.0%	0.0%	3.81	83.4%	14.5%	2.1%	0.0%
16	3.84	85.9%	12.8%	1.4%	0.0%	#####	#####	#####	#####	#####	3.92	91.5%	8.5%	0.0%	0.0%	3.87	87.6%	11.7%	0.7%	0.0%

※自己評価と授業評価

黄色の帯のところは、過去5年間の推移
2020年→2021年→2022年→2023年→2024年※A～Dの数値は構成比
単位は%※芸術科の音楽担当教諭が育休の部分
は #####となっています。

No.	設 問	△は実習科目における設問	高等学校					中学校				
			評価	A(4)	B(3)	C(2)	D(1)	評価	A(4)	B(3)	C(2)	D(1)
生徒自身の自己評価			自己評価平均値:3.67 (昨年 3.60)					自己評価平均値: 3.48(昨年 3.39)				
1	あなたはこの授業にまじめに出席し、意欲的に取り組みましたか。		3.80	81.2%	17.4%	1.3%	0.1%	3.62	65.7%	31.0%	2.9%	0.3%
2	あなたはこの授業で出された宿題や課題を自分の力でこなすことができましたか。		3.76	78.7%	18.7%	2.4%	0.2%	3.63	68.0%	27.4%	3.9%	0.7%
3	あなたはこの授業でわからない点があっても、先生に質問するなどしてわかる努力をしましたか。		3.44	56.9%	31.8%	10.1%	1.2%	3.20	43.5%	36.6%	16.5%	3.4%
教員に対する授業評価			授業評価平均値:3.75 (昨年 3.68)					授業評価平均値:3.57 (昨年 3.57)				
4	担当の先生は、授業の開始の時刻と終了の時刻を守っていましたか。		3.80	83.1%	13.8%	2.6%	0.5%	3.57	66.4%	25.7%	6.2%	1.7%
5	担当の先生は、授業のねらいをはっきりと示し、テーマに沿って授業を展開していましたか。		3.80	82.4%	15.8%	1.6%	0.2%	3.65	71.8%	22.5%	4.4%	1.2%
6	担当の先生の説明は、ていねいでわかりやすかったですか。		3.72	77.2%	18.5%	3.6%	0.7%	3.56	64.3%	29.2%	5.1%	1.5%
7	担当の先生は、生徒に対して公平に接していましたか。		3.74	79.7%	16.1%	3.1%	1.1%	3.39	56.0%	31.0%	9.3%	3.7%
8	担当の先生は、熱意をもって授業にのぞんでいるように感じましたか。		3.81	83.1%	14.7%	1.8%	0.4%	3.61	68.8%	25.1%	4.7%	1.4%
9	板書の文字や図は、授業の要点をうまくまとめ、みやすかったですか。		3.70	75.8%	19.6%	3.8%	0.8%	3.56	66.2%	25.4%	6.9%	1.5%
	△担当の先生は、危機管理に気を配り、生徒一人ひとりの安全に対して配慮していましたか。		3.88	88.2%	11.2%	0.6%	0.0%	3.76	80.3%	16.7%	1.5%	1.5%
10	担当の先生は、授業中の質問に対して適切に応えていましたか。		3.80	82.0%	16.3%	1.4%	0.4%	3.63	68.9%	26.0%	3.8%	1.2%
11	担当の先生は、生徒が個別に質問や相談に行っても、適切に対応してくれましたか。		3.75	78.0%	19.5%	2.2%	0.3%	3.57	64.1%	29.9%	4.8%	1.2%
	△担当の先生は、自ら模範演技を見せたり、生徒の優れた作品などを見せていましたか。		3.84	85.5%	13.2%	1.4%	0.0%	3.80	82.6%	14.4%	3.0%	0.0%
12	担当の先生は、私語をする生徒には注意をし、寝ている生徒は起こすなど、毅然と接していましたか。		3.74	77.2%	19.7%	2.7%	0.3%	3.61	66.5%	28.8%	3.6%	1.1%
	△担当の先生は、集中しない生徒、勝手な行動をする生徒などに対して毅然と指導していましたか。		3.85	85.8%	13.6%	0.5%	0.8%	3.81	82.6%	15.9%	1.5%	0.0%
13	担当の先生は、生徒に質問や発言を促し、参加・対話型の授業になっていましたか。		3.75	79.0%	17.3%	3.1%	0.6%	3.61	67.7%	26.5%	4.9%	0.9%
	△担当の先生は、一人ひとりの理解に応じて個別に対応するような指導をしていましたか。		3.82	84.1%	13.6%	2.3%	0.0%	3.75	76.5%	22.0%	1.5%	0.0%
14	授業のスピードや難易度については適度に感じましたか。		3.61	70.1%	22.7%	5.7%	1.5%	3.39	53.9%	33.9%	9.3%	2.9%
	△担当の先生は、グラウンドの整備、教室の美化などについて気を配っていましたか。		3.79	81.2%	17.3%	1.2%	0.3%	3.74	75.8%	22.7%	1.5%	0.0%
15	あなたはこの授業でその科目の知識や考え方を培い、学力向上の役に立ったと感じますか。		3.67	73.6%	21.3%	3.9%	1.2%	3.53	61.4%	31.7%	5.7%	1.2%
	△あなたはこの授業に出て、その科目の技術の習得向上に役に立ったと感じますか。		3.87	87.0%	12.6%	0.5%	0.0%	3.75	77.1%	20.6%	2.3%	0.0%
16	総合的に判断して、この担当の先生の授業に対する満足度はどのくらいですか。		3.71	75.9%	20.2%	3.2%	0.7%	3.52	60.2%	32.8%	5.7%	1.3%

活動の取り組み状況について

